



東京大学の概要

平成8年度

学 年 暦 (平成8年度)

4月1日(月)	学 年 始 め
〃	春季休業(～7日)
12日(金)	入 学 式(日本武道館)
7月11日(木)	夏季休業(教養学部を除く)(～9月10日)
15日(月)	夏季休業(教養学部)(～8月31日)
12月25日(水)	冬季休業(～1月7日)
3月27日(木)	卒 業 式(大講堂)
28日(金)	学位記授与式(大講堂)
31日(月)	学 年 終 り



【東京大学広報センター】

東京大学の情報発信専用の施設として、東京大学と一般社会(国民)とのコミュニケーションを深め、より広範な情報交流を行うことにより、高等教育、学術研究等に対する一層の理解と協力を得ることを目的として、平成7年9月に龍岡門横にオープンした。なお、情報提供の概要としては、次のコーナーが準備されている。

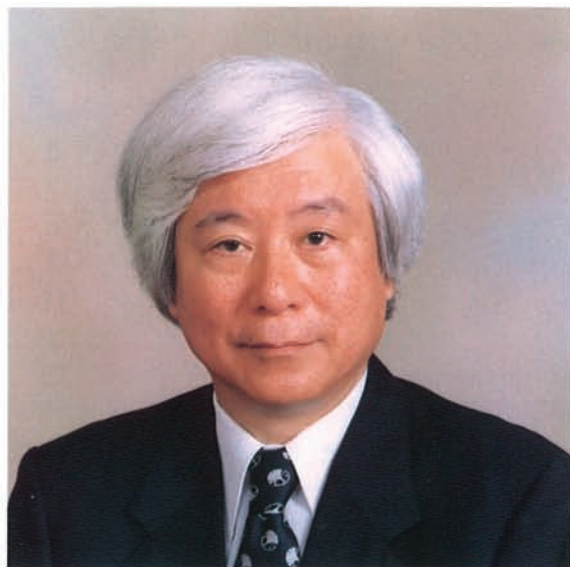
〈1階コーナー〉

- 視聴覚コーナー
- 情報検索コーナー

〈2階コーナー〉

- 研究情報コーナー
- 大学情報コーナー

I. 総 長	
1. 挨拶	1
2. 歴代総長	2
II. 沿 革	
1. 沿 革	3
2. 沿革略図	5
III. 組 織	
1. 役 職 員	7
2. 機 構 図	9
3. 学部 学科名等・講座数等	11
4. 大学院研究科 専攻・講座数	12
5. 附置研究所	13
6. 学内共同教育研究施設・全国共同利用施設	15
7. 教職員定員	16
IV. 入学・在籍・卒業後の状況等	
1. 学生・研究生・聴講生数	17
2. 学部学生の入学状況	18
3. 大学院学生の入学状況	19
4. 入学者選抜方法等の概要	20
5. 大学院入学者選抜方法の概要	21
6. 学位取得状況	22
7. 学部卒業者の卒業後の状況	23
8. 大学院修了者の修了後の状況	24
9. 大学院における学生の交流状況	25
10. 附属学校の入学定員・在学者数	26
V. 国際交流	
1. 国際交流協定一覧	27
2. 外国へ留学している学生数	29
3. 外国人留学生数	30
4. 外国人研究者の受入状況	31
5. 国際交流会館	32
6. 発展途上国との学術交流・協力	33
VI. 研究体制	
1. 研究員等の受入状況	34
2. 寄付講座・寄付研究部門設置状況	35
3. 国有特許保有件数	36
4. 学術情報分野別データベース作成件数	36
VII. 附属病院診療科・病床数等	37
VIII. 部局別蔵書数	38
IX. 財 政	
1. 支出総額	39
2. 科学研究費補助金	40
3. 外部資金	40
X. キャンパス	
1. 施設等所在地及び土地・建物面積	41
2. 講堂等施設	44
3. 学生関係施設	44
4. 施設分布図	45
5. 本郷・駒場キャンパス建物配置図	47
6. キャンパス計画の概要	51
7. 本学への経路	52



東京大学は明治期に創設以来の歴史を通して、我が国における教育と研究の重要な中心としての役割を果たしながら、次第に充実されつつ現在の姿に至ったものであり、今年で創立119年であります。

基本的には明治時代の構成を継承しながら10の学部、11の大学院研究科、12の附置研究所、その他共同利用センターなどを擁し、学部学生約16,300人、大学院学生約9,500人、それに加えて世界中の国々からの留学生は研究生を含めて約1,800人が在籍しています。

東京大学の基本的な理念は、学問を中心に置き、研究の先端を進めつつ、教育を行い、また研究の成果を世に問うことを通じ、社会に貢献することにあります。研究においては人類の財産としての学問体系の継承と、その絶えることのない独創的な発展をめざし、その研究の行為を通じ、また成果の反映によって高度な教育を行うことを目標にしています。

東京大学は現在、21世紀を展望しつつ、大学院により重点を置きながら教育・研究制度を改革し、新しい学問分野の大学院研究科創設を構想し、一方では教養学部前期課程教育の改善を行い、また、後期課程教育の充実や大学院の教育・研究の改善を目指して、大きな変容を遂げつつあります。

東京大学の概要は、本学に関わる基本的な情報の公開を本旨として編集し、毎年度発行しているものです。この小冊子が有効活用に使われることを期待してご挨拶といたします。

東京大学総長

吉川弘之

歴代総長

名称・就任年月日		氏 名	
東京大学	法理文3学部総理 明10. 4 加藤弘之	医学部総理 明10. 4 池田謙斎	
	総 理		
	明14. 7	加藤弘之	外山正一
帝国大学	〃 19. 1 (事務取扱)	加藤弘之	外山正一
	総 長		
	〃 19. 3 (事務取扱)	外山正一	山邊洪基
	〃 19. 3	山邊洪基	加藤弘之
	〃 23. 5	加藤弘之	濱尾新一
東京帝国大学	〃 26. 3	濱尾新一	外山正一
	〃 30. 11	外山正一	菊池大麓
	〃 31. 5	菊池大麓	山川健次郎
	〃 34. 6	山川健次郎	松井直吉
	〃 38. 12 (兼)	松井直吉	濱尾新一
	〃 38. 12	濱尾新一	大元健次郎
	大元. 8 (事務取扱)	大元健次郎	山井錠次
	〃 2. 5	山井錠次	山古在直
	〃 9. 9	山古在直	小野塚喜平
	昭3. 12	小野塚喜平	長野與又寛
	〃 9. 12	長野與又寛	佐藤寛次
	〃 13. 11 (事務取扱)	佐藤寛次	平賀讓一
	〃 13. 12	平賀讓一	寺澤寛祥
	〃 18. 2 (事務取扱)	寺澤寛祥	内田三繁
	〃 18. 3	内田三繁	南原忠誠
東京大学	〃 20. 12	南原忠誠	矢内一男
	〃 26. 12	矢内一男	茅内一郎
	〃 32. 12	茅内一郎	大河一太郎
	〃 38. 12	大河一太郎	加藤一太郎
	〃 43. 11 (事務取扱)	加藤一太郎	加藤一太郎
	〃 44. 4	加藤一太郎	林健太郎
	〃 48. 4	林健太郎	向坊隆一
	〃 52. 4	向坊隆一	平野龍一
	〃 56. 4	平野龍一	森 亘人
	〃 60. 4	森 亘人	有馬朗人
平元. 4	有馬朗人	吉川弘之	
〃 5. 4	吉川弘之		

東京大学前史 (明治元年～同10年)

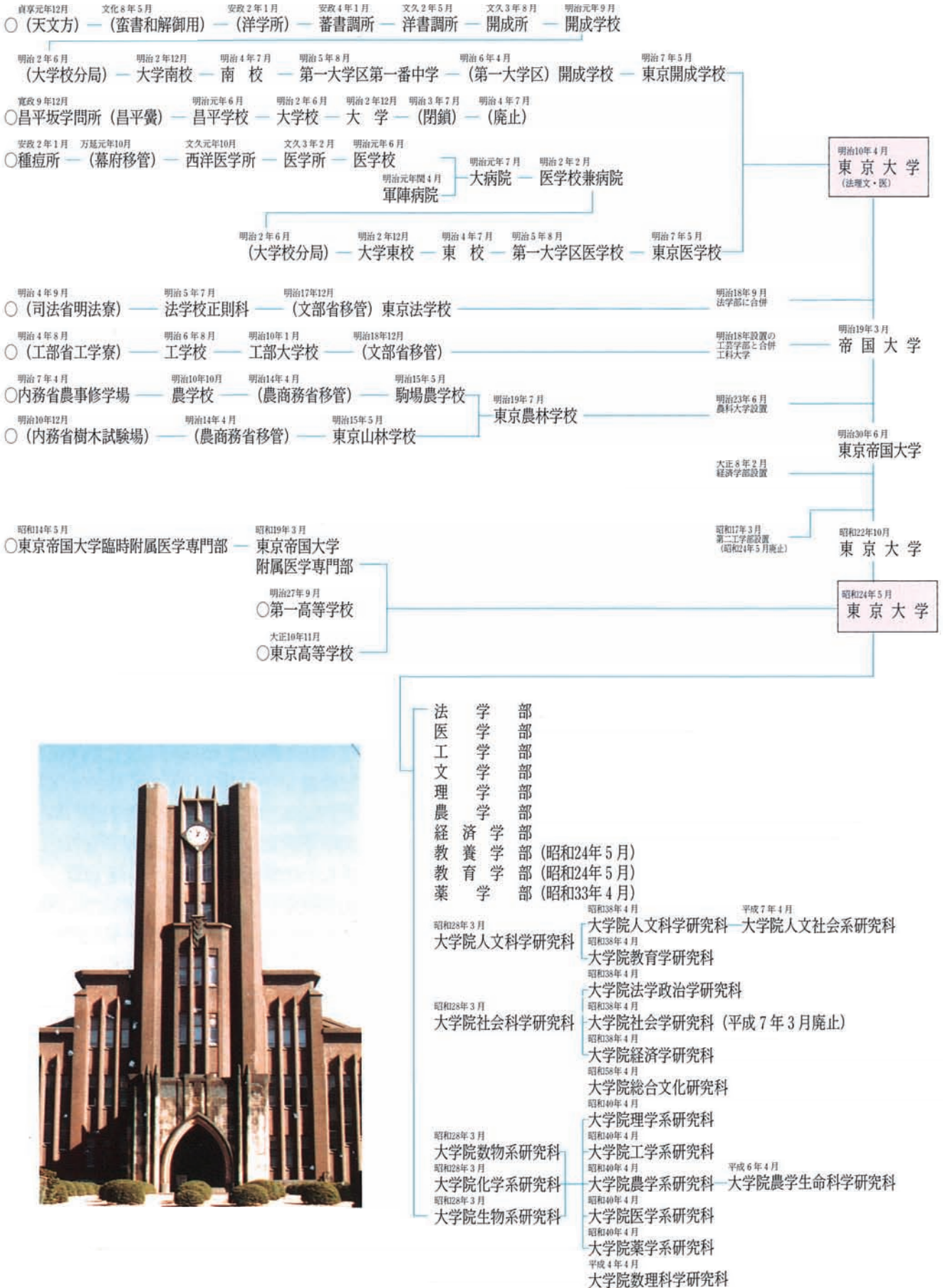
名称・就任年月日		氏 名	
開成学校	頭 取 明元. 9 柳川春三	医 学 校	頭 取 明元. 6 前田信輔
大 学 南 校 大 南 校	〃元. 9 川勝近江	大 学 東 校	〃元. 10 緒方惟準
	〃元. 12 内田恒次郎		〃 2. 1 石神良策
	大 学 大 丞		大 学 大 丞
第一大学区 第一番中学	〃 2. 7 加藤弘之	東 第 一 大 学 区 医 学 校	〃 3 相良知安純
	〃 2. 9 町田久成		〃 4 岩佐尚中
校 長 (学長)	校 長 (学長)		
〃 5. 2 辻新次	〃 5. 8 相良知安		
〃 5. 10 柳本直太郎	〃 5. 9 長谷川知安		
開成学校	〃 6. 5 伴正順	東 京 医 学 校	〃 6. 6 相良知安
東京開成学校	〃 6. 12 畠山義成		〃 7. 9 長與專斎
綜 理	〃 10. 2 加藤弘之		〃 10. 1 池田謙斎

年月	事項	年月	事項
明治10.4.12	東京大学創設(東京開成学校と東京医学校を合併、旧東京開成学校を改組し法・理・文の3学部、旧東京医学校を改組し医学部を設置、東京大学予備門を附属)	大正10.4	士) 学年を4月1日から翌年3月31日までとする
11.12	文部省、東京大学に学位(学士号)の授与権を与える	10.7	航空研究所を設置
12.4	東京大学の授与する学士号を法学士・理学士・文学士・医学士・製薬士とする	10.11	東京天文台を設置
13.8	法理文の三学部を学士研究科を設置(大学院の前身)	14.7	大講堂落成
14.6	東京大学職制を制定(東京大学に総理を置き、4学部と予備門を統括)	14.11	地震研究所を設置
14.8	諮詢会を設置(評議会・学部教授会の前身)	15.8	本郷区本富士町の前田侯爵邸敷地約42,000m ² を所有(農学部敷地と土地交換)
17.8	本部事務室及び法学部・文学部を神田錦町から本郷に移転	昭和6.12	赤門国宝に指定
17.10	東京大学副総理を置く	10.7	農学部本郷向ヶ岡弥生町に移転(第一高等学校と敷地交換)
18.9	理学部を神田錦町から本郷に移転	10.11	外国人の学部入学に関する規程を設ける
19.3	帝国大学令公布 工部大学校を統合して帝国大学に改組(法・医・工・文・理の5分科大学及び大学院を設置)	14.5	臨時附属医学専門部を設置
19.3	大学院規程を制定(攻究期間2年以内)	16.10	大学・学部等の修業年限の臨時短縮に関する勅令公布
19.4	分科大学諸学科の課程を制定(法・工・文・理は修業年限3年、医は4年)	16.11	東洋文化研究所を設置
20.5	学位令公布(学位は博士・大博士とし、授与権者を文部大臣とする)	17.3	第二工学部を設置
20.7	分科大学卒業生に授与する学士号は称号とし、法学士・医学士・薬学士・工学士・文学士・理学士とする	19.1	南方自然科学研究所を設置
21.5	初めて博士号を授与	20.1	放射線化学研究所を設置
23.6	農科大学設置	20.6	帝国大学処務規程制定(事務局、学生部を設置)
26.8	帝国大学令中改正(評議会の条項改正、講座制創設、各分科大学に教授会設置)	21.3	理工学研究所を設置(航空研究所を改組)
30.6	帝国大学を東京帝国大学と改称	21.8	社会科学研究所を設置
大正5.4	伝染病研究所を設置	22.3	教育基本法、学校教育法公布(大学令等廃止)
8.2	帝国大学令改正(分科大学を廃し学部を置く)本学に法・医・工・文・理・農の各学部のほか経済学部を新設	22.10	東京帝国大学を東京大学と改称(帝国大学令等を改正)
9.7	学位令改正(大学が授与権、博士は論文提出のみとする)	24.5	第二工学部学生募集を停止
10.3	本学学位規則を制定(法学・医学・薬学・工学・文学・理学・農学・経済学の各博	24.5	国立学校設置法公布 新制東京大学創設(教養学部・教育学部が新設され、法・医・工・文・理・農・経済・教養・教育の9学部設置)、新聞研究所・生産技術研究所を新設
		24.10	学部通則一部改正(修業年限4年、前期2年は教養学部、後期2年は各学部において教育、医学部医学科は修業年限を4年)
		25.3	史料編纂所、文学部附属から本学附置研究所となる
		26.4	教育学部附属中学校・高等学校を設置(東京高等学校を廃止)
		28.3	大学院学則(新制)を制定

年 月	事 項	年 月	事 項
昭和28.4	東京大学大学院設置(人文科学・社会科学・数物系・化学系・生物系の5研究科を設置) 新制大学院発足(学位規則公布) (新制度の学位は博士・修士の2種)	昭和56.4	宇宙航空研究所を廃止(大学共同利用機関、宇宙科学研究所へ転換)
28.7	応用微生物研究所、宇宙線観測所を設置	58.4	文献情報センターを設置(情報図書館学研究センターの転換)
29.9	「国立大学の講座に関する省令」を制定	58.4	遺伝子実験施設を設置
30.7	原子核研究所を設置	60.4	留学生教育センターを設置
31.10	大学設置基準制定	61.4	文献情報センターを廃止(大学共同利用機関、学術情報センターへ転換)
32.4	物性研究所を設置	61.7	山上会館が竣工
32.4	東京大学学位規則を制定	62.5	先端科学技術研究センターを設置
33.4	薬学部を設置	63.6	東京天文台を廃止(大学共同利用機関、国立天文台へ転換)
33.4	航空研究所を設置(理工学研究所を廃止)	平成元.1	御殿下記念館が竣工
34.4	事務局に部制を実施	2.6	留学生センターを設置(留学生教育センターの転換)
35.5	東京大学事務局組織規程を制定	3.3	大講堂での卒業式を再開
35.12	事務局営繕課を改組し施設部を設置	3.4	気候システム研究センターを設置
37.3	海洋研究所を設置	3.4	大学院の重点化に向けて整備を開始
37.3	生産技術研究所六本木に移転	4.4	大学院数理科学研究科を設置
38.3	大学院の人文科学・社会科学の2研究科を改組し、人文科学・教育学・法学政治学・社会学・経済学の5研究科を設置	4.4	人工物工学研究センターを設置
39.2	東京大学名誉教授称号授与規則を制定	4.4	新聞研究所を社会情報研究所に改組
39.4	宇宙航空研究所を設置(航空研究所を廃止)	5.4	副学長を設置
40.4	大学院の生物系・数物系・化学系の3研究科を改組し、理学系・医学系・薬学系・工学系・農学系の5研究科を設置	5.4	環境安全センターを環境安全研究センターに改組
41.4	総合研究資料館、大型計算機センター、保健管理センターを設置	5.4	応用微生物研究所を分子細胞生物学研究所に改組
42.6	医科学研究所を設置(伝染病研究所を廃止)	5.4	生物生産工学研究センターを設置
42.6	低温センターを設置	6.4	農学系研究科を農学生命科学研究科に改称
43.1	医学部学生研修医問題でストライキ実施(東大紛争の発端)	6.6	素粒子物理国際研究センターを設置
43.3	紛争のため大講堂での統一卒業式を中止	6.6	地震研究所を全国共同利用研究所に改組
45.4	アイソトープ総合センターを設置	7.4	人文科学研究科を人文社会系研究科に名称変更・改組し、社会科学研究科を廃止
47.5	原子力研究総合センター・教育用計算機センターを設置	7.4	アジア生物資源環境研究センターを設置
50.4	環境安全センターを設置	8.5	総合研究資料館を総合研究博物館に名称変更
51.5	宇宙線観測所を宇宙線研究所と改称	8.5	大学総合教育研究センターを設置
52.4	創立百年記念式典を挙げる	8.5	国際・産学共同研究センターを設置
54.9	龍岡門近傍に本部庁舎が完成し、竣工式を挙げる	8.5	大規模集積システム設計教育研究センターを設置

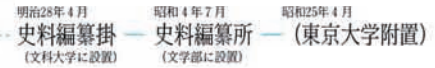
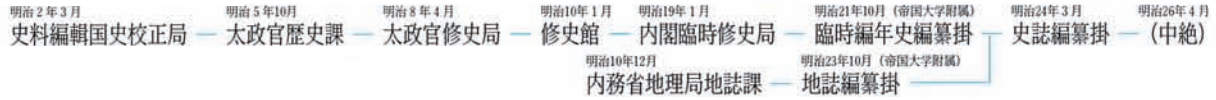
沿革略図

学部・大学院沿革

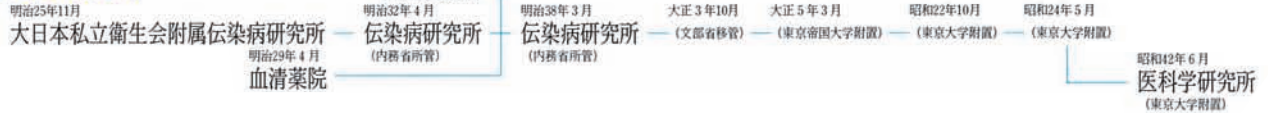


各研究所等沿革

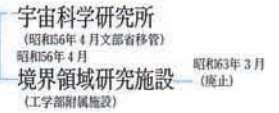
○史料編さん所



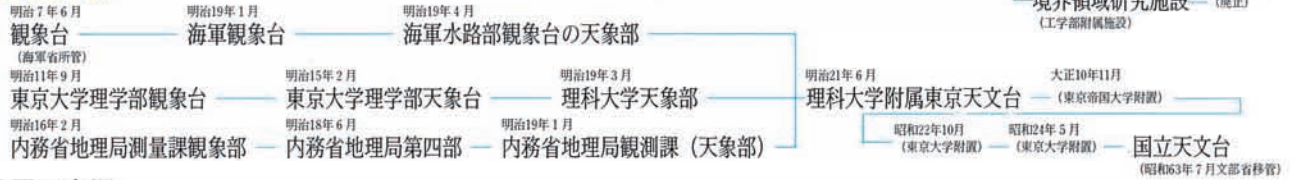
○医学研究所



○宇宙航空研究所



○東京天文台



○地震研究所



○東洋文化研究所



○社会科学研究所



○社会情報研究所



○生産技術研究所



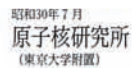
○分子細胞生物学研究所



○宇宙線研究所



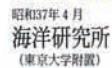
○原子核研究所



○物性研究所



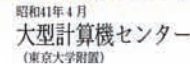
○海洋研究所



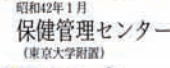
○総合研究博物館



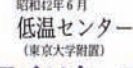
○大型計算機センター



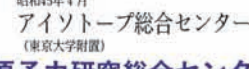
○保健管理センター



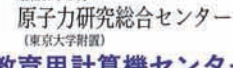
○低温センター



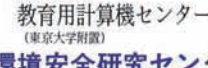
○アイソトープ総合センター



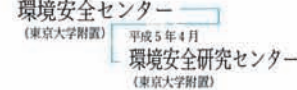
○原子力研究総合センター



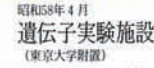
○教育用計算機センター



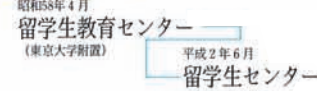
○環境安全研究センター



○遺伝子実験施設



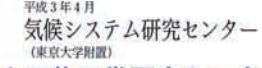
○留学生センター



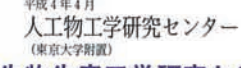
○先端科学技術研究センター



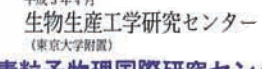
○気候システム研究センター



○人工工学研究センター



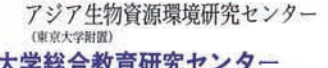
○生物生産工学研究センター



○素粒子物理国際研究センター



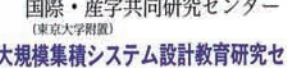
○アジア生物資源環境研究センター



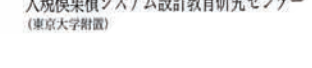
○大学総合教育研究センター



○国際・産学共同研究センター



○大規模集積システム設計教育研究センター



役 職 員

(平成8年7月1日)

総長	吉川弘之	動物実験施設長	藤原道雄
総長室		事務長	原谷正仁
副学長	鈴木昭憲	附属病院長	松下明茂
副学長	鈴木重彦	事務部長	柳下室慎
		総務課長	小室山一博
事務局		管理課長	辻山敏
事務局長	長谷川正明	医事課長	川名尚幸
企画調整官	工藤敏夫	附属病院分院長	清川文
総務部		事務長	岡村甫
総務部長	渡邊彌紀	大学院工学系研究科・工学部	
総務課長	佐野幹	工学系研究科長・工学部長	岡村甫
人事課長	加藤夫忠	総合試験所長	〃
学務課長	出澤忠	原子力工学研究施設長	〃
経理部		工学部・工学系研究科事務部長	岩元忠幸
経理部長	原政敏	総務課長	岡田雅
主計課長	上國料伸一	経理課長	植田榮
経理課長	新倉藤夫	教務課長	石井金
契約課長	加藤泰	総合試験所事務長	飯野寿一
管財課長	宮田靖弘	大学院人文社会系研究科・文学部	
情報処理課長	泉弘幸	人文社会系研究科長・文学部長	青柳正規
施設部		文化交流研究施設長	〃
施設部長	大矢誠一	北海文化研究常呂実習施設長	〃
企画課長	永島弘義	文学部・人文社会系研究科事務長	伊大知正久
建築課長	西澤昭一	大学院理学系研究科・理学部	
機械設備課長	原正幹	理学系研究科長・理学部長	益田隆司
電気・通信設備課長	古屋幹一	臨海実験所長	森澤正敏
学生部		植物園長	長田田敏
学生部長	安岡邦昭	スペクトル化学研究センター長	太田俊
学生課長	阿部素	中間子科学研究センター長	矢崎一
厚生課長	飯塚弘	地殻化学実験施設長	脇田宏
入試課長	木村憲	天文学教育研究センター長	祖父江義
研究協力部		理学部・理学系研究科事務長	柚原義
研究協力部長	金田正男	大学院農学生命科学研究科・農学部	
研究協力課長	川江実	農学生命科学研究科長・農学部長	小林正彦
国際交流課長	渡邊晴	農場長	崎山亮
留学生課長	牧五十治	演習林長	熊谷洋
		牧場長	高橋迪
附属図書館		家畜病院長	長谷川篤彦
図書館長	六本佳平	水産実験所長	若林久嗣
事務部長	近藤禔男	緑地植物実験所長	若林保雄
総務課長	大埜浩一	農学部・農学生命科学研究科事務長	福井信
情報管理課長	郡司良夫	農場事務長	加藤光
情報サービス課長	伊藤祐三	演習林事務長	鈴木利
		牧場事務長	小林邦男
学部・大学院・同附属施設		大学院経済学研究科・経済学部	
大学院法学政治学研究科・法学部		経済学研究科長・経済学部長	斎藤静樹
法学政治学研究科長・法学部長	青山善充	日本産業経済研究施設長	〃
法学政治学研究科比較法政国際センター長	〃	経済学部・経済学研究科事務長	中村龍雄
外国法文献センター長	〃	大学院総合文化研究科・教養学部	
近代日本法政史料センター長	〃	総合文化研究科長・教養学部長	市村宗武
法学部・法学政治学研究科事務長	高橋良了	アメリカ研究資料センター長	〃
医学部		教養学部等事務部長	杉田信孝
医学部長	矢崎義雄	総務課長	久保田秀
看護学校長	佐々木康人	経理課長	真取秀一
助産婦学校長	武谷雄二	教務課長	坂田鉄
脳研究施設長	井原康夫	学生課長	右松原
医用電子研究施設長	神谷瞭弘	図書課長	金原貴
音声言語医学研究施設長	杉下守		

大学院教育学研究科・教育学部
 教育学研究科長・教育学部長 浦野 東洋一
 中学校長 //
 高等学校長 大村 彰 道治
 教育学部・教育学研究科事務長 鈴木 宏
薬学部
 薬学部長 名取 俊 二
 薬用植物園長 //
 事務長 石渡 孝 義
 大学院数理科学研究科
 数理科学研究科長 落合 卓四郎

附置研究所・同附属施設

医科学研究所
 医科学研究所長 吉田 光 昭
 実験動物研究施設長 勝木 元 也
 奄美病害動物研究施設長 小島 莊 明
 微生物株保存施設長 金ヶ崎 士 朗
 遺伝子解析施設長 齋藤 泉
 ヒトゲノム解析センター長 中村 祐 輔
 病院長 浅野 隆 美
 事務部長 清水 昭 一
 管理課長 高橋 忠 世
 経理課長

地震研究所
 地震研究所長 深尾 良 夫
 地震予知研究推進センター長 吉井 敏 夫
 地震地殻変動観測センター長 石井 敏 夫
 地震予知情報センター長 阿部 勝 征
 火山噴火予知研究推進センター長 井田 喜 明
 八ヶ岳地球電磁気観測所長 田 久 司
 江ノ島津波観測所長 都司 嘉 宣
 事務長 大川 勉

東洋文化研究所
 東洋文化研究所長 濱下 武 志
 東洋学文献センター長 //
 事務長 千葉 勝 志

社会科学研究所
 社会科学研究所長 和田 春 樹
 日本社会研究情報センター長 //
 事務長 津 脇 功

社会情報研究所
 社会情報研究所長 濱田 純 一
 情報メディア研究資料センター長 小林 宏 一
 事務長 小室 田 繁 和

生産技術研究所
 生産技術研究所長 鈴木 基 之
 千葉実験所長 虫明 功 臣
 計測技術開発センター長 村上 周 三
 国際災害軽減工学研究センター長 片山 恒 雄
 概念情報工学研究センター長 坂内 正 夫
 材料界面マイクロ工学研究センター長 工藤 徹 一
 事務部長 井手ノ上 正己
 総務課長 森 暉 志
 経理課長 相川 弘 二

史料編さん所
 史料編さん所長 宮地 正 人
 事務長 岡部 健 一

分子細胞生物学研究所
 分子細胞生物学研究所長 岩崎 成 夫
 細胞・機能高分子総合センター長 //
 事務長 正木 忠 夫

宇宙線研究所
 宇宙線研究所長 荒湯 船 次郎
 乗鞍観測所長 船田 利元
 明野観測所長 野塚 洋 二郎
 神岡宇宙素粒子研究施設長 戸 銀 一
 事務長 小 林

原子核研究所
 原子核研究所長 山田 作 衛
 事務長 廣 重 武 文

物性研究所
 物性研究所長 安岡 弘 志
 軌道放射物性研究施設長 神谷 幸 彦
 中性子散乱研究施設長 藤井 保 一
 物質設計評価施設長 高杉 山 一
 事務部長 高朝 日向 吉 晟
 総務課長 遠藤 昭 昌
 経理課長 鈴木 木 美

海洋研究所
 海洋研究所長 平野 哲 也
 研究船淡青丸船長 林 野川 節 一
 研究船白鳳丸船長 神川 野口 洋 弘
 大槌臨海研究センター長 川 平 啓 孝
 海洋科学国際共同研究センター長 鈴木 木 林 公
 事務部長 小細 川 公
 総務課長
 経理課長

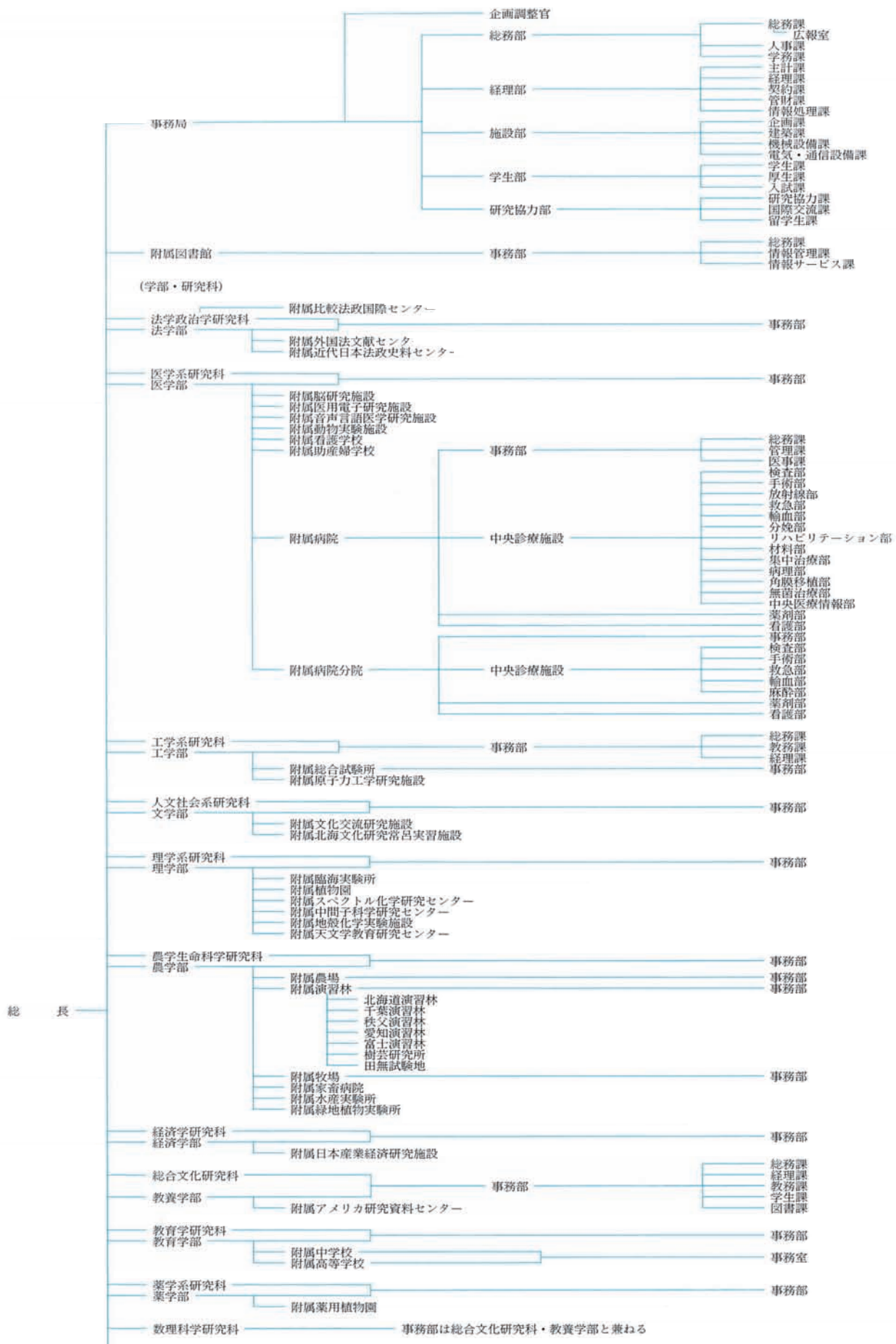
学内共同教育研究施設等

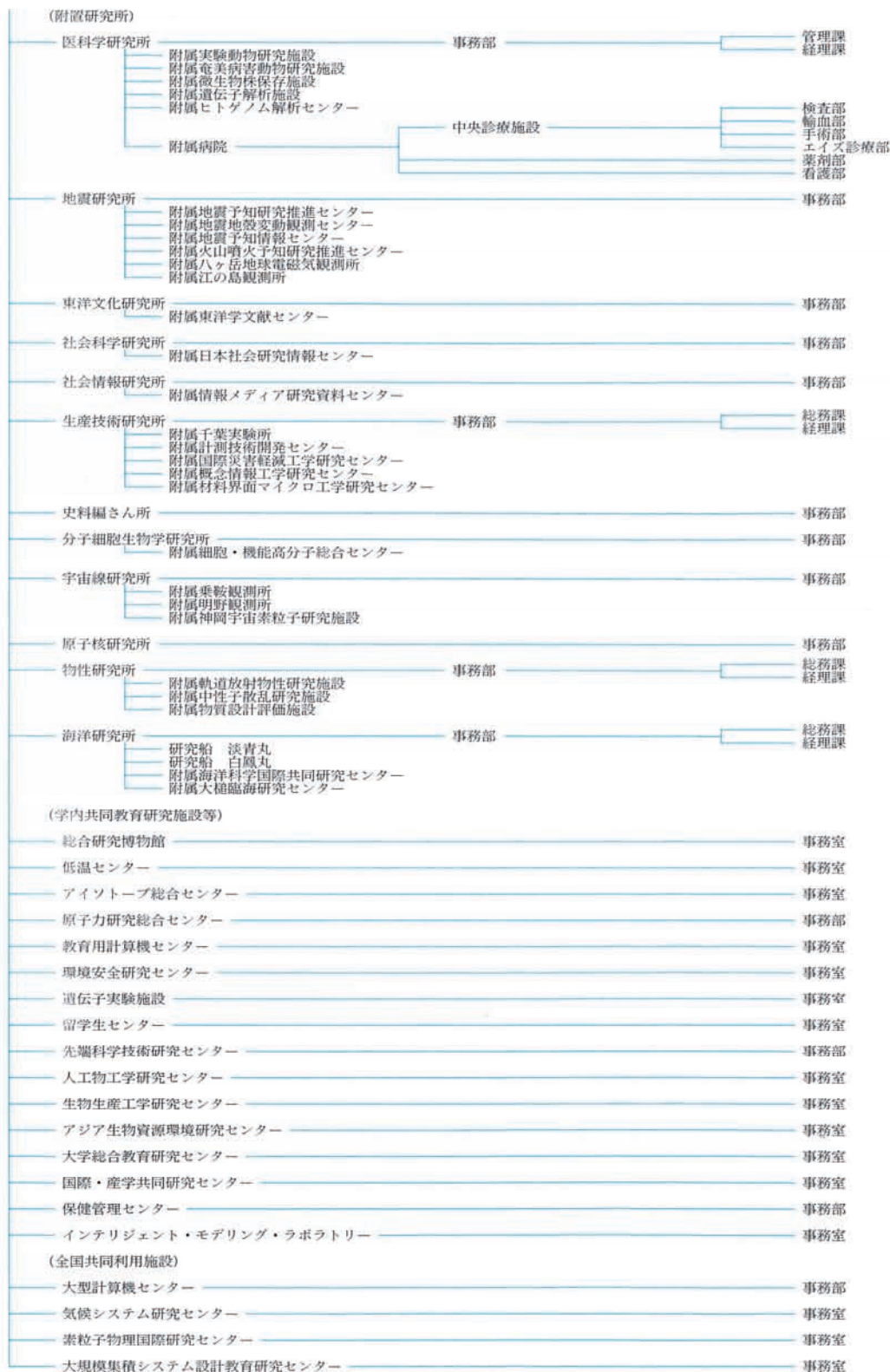
総合研究博物館長 林 良 博
 低温センター長 鹿児島 誠 一
 アイソトープ総合センター長 鈴木 木 紀 研
 原子力研究総合センター長 小牧 田 市 正
 事務長 小豊 武 友
 教育用計算機センター長 松尾 田 口 昭
 環境安全研究センター長 堀川 田 口 輝
 遺伝子実験施設長 川 千 尚
 留学生センター長 岸 泉 中 島 澤
 先端科学技術研究センター長 田 松 田 中 子 元
 事務長 泉 中 島 澤 元
 人工物工学研究センター長 松田 中子 元
 生物生産工学研究センター長 田 金 安 豊
 アジア生物資源環境研究センター長 岡 村
 大学総合教育研究センター長 国際・産学共同研究センター長 保健管理センター所長 インテリジェント・モデリング・ラボラトリー長

全国共同利用施設

大型計算機センター長 齊藤 忠 夫
 事務長 大住 折 戸 明 正
 気候システム研究センター長 素粒子物理国際研究センター長 大規模集積システム設計教育研究センター長

機 構 図





学部 学科名等・講座数等

(平成8年度)

学部	学科等数	学 科 名 等	講座数	学科目数	学部附属施設
教養学部 (前期課程)				6	
法 学 部	3	第一類(私法コース) 第二類(公法コース) 第三類(政治コース)		5	外国法文献センター 近代日本法制史料センター
医 学 部	2	医学科(14) [15] 健康科学・看護学科 [3]	14	18	看護学校 助産婦学校 脳研究施設 医用電子研究施設 音声言語医学研究施設 動物実験施設 附属病院 附属病院分院
工 学 部	21	土木工学科 [3] 建築学科 [1] 都市工学科 [1] 機械工学科 [1] 産業機械工学科 [1] 機械情報工学科 [1] 精密機械工学科 [2] 船舶海洋工学科 [2] 航空宇宙工学科 [2] 電気工学科 [2] 電子情報工学科 [2] 電子工学科 [2] 物理工学科 [3] 計数工学科 [2] システム量子工学科 [2] 地球システム工学科 [2] 金属工学科 [2] 材料学科 [2] 応用化学科 [1] 化学システム工学科 [1] 化学生命工学科 [1] 共通学科目 [1]		37	総合試験所 原子力工学研究施設
文 学 部	4	思想文化学科 [7] 歴史文化学科 [5] 言語文化学科 [10] 行動文化学科 [3]		25	文化交流研究施設 北海文化研究常呂実習施設
理 学 部	9	数学科 [1] 情報科学科 [1] 物理学科 [1] 天文学科 [1] 地球惑星物理学科 [1] 化学科 [1] 生物化学科 [1] 生物学科 [1] 地学科 [2]		10	臨海実験所 植物園 スペクトル化学研究センター 中間子科学研究センター 地殻化学実験施設 天文学教育研究センター
農 学 部	5	応用生命科学課程 生物環境科学課程 生物生産科学課程 地域経済・資源科学課程 獣医学課程		18	農場 演習林 牧場 家畜病院 水産実験所 緑地植物実験所
経済学部	2	経済学科 経営学科		8	日本産業経済研究施設
教養学部 (後期課程)	6	超域文化科学科 [1] 地域文化研究学科 [1] 総合社会科学科 [1] 基礎科学科 [1] 広域科学科 [1] 生命・認知科学科 [1]		6	アメリカ研究史料センター
教育学部	1	総合教育科学科 [6]		6	附属中学校 附属高等学校
薬学部	1	薬学科 (5)	5		薬用植物園
計	54		19	139	

備考 1. 「学科名等」の()内の数は講座数を、[]内は学科目数をそれぞれ示す。

2. 寄付講座は別掲とする。

大学院研究科 専攻・講座数

(平成8年度)

研究科	専攻数	専攻名	講座数	研究科 附属施設
*人文社会系研究科	5	基礎文化研究(2) 日本文化研究(1) アジア文化研究(3) 欧米系文化研究 社会文化研究(1)	大 26 (7)	
*教育学研究科	1	総合教育科学	大 6	
*法学政治学研究科	4	公法(1) 民刑事法(1) 基礎法学(1) 政治(1)	大 20 (4)	比較法政国際センター
*経済学研究科	4	経済理論(1) 現代経済(4) 企業・市場(1) 経済史(2)	大 12 (8)	
*総合文化研究科	5	言語情報科学 超域文化科学(1) 地域文化研究(2) 国際社会科学(1) 広域科学(1)	大 34 (5)	
*理学系研究科	10	情報科学(1) 物理学(3) 天文学(1) 地球惑星物理学(1) 化学(3) 生物化学(1) 生物科学 地質学(1) 鉱物学 地理学	大 27 (15)	
*工学系研究科	24	社会基盤工学(1) 建築学(1) 都市工学(2) 機械工学(2) 産業機械工学(1) 機械情報工学(1) 精密機械工学(1) 船舶海洋工学(1) 航空宇宙工学(2) 電気工学(1) 電子情報工学(1) 電子工学(1) 物理工学(1) 計数工学(1) システム量子工学(1) 地球システム工学 金属工学(1) 材料学(1) 応用化学(1) 化学システム工学(1) 化学生命工学(1) 情報工学 超伝導工学 先端学際工学(4)	大 85 (27)	
*農学生命科学研究科	10	生産・環境生物学(1) 応用生命化学(1) 森林科学(1) 水圏生物科学(2) 農業・資源経済学(1) 生物・環境工学 生物材料科学 応用生命工学(1) 応用動物科学(1) 獣医学(1)	大 27 (9)	
医学系研究科	10	第一基礎医学(9) 第二基礎医学(5) 第二臨床医学(1) *病因・病理学(1) *社会医学 *内科学(1) *生殖・発達・加齢医学(1) *外科学(1) *健康科学・看護学 *国際保健学	大 18 (19)	
薬学系研究科	3	薬学(1) 製薬化学 ※生命薬学(5)	4 (6)	
*数理科学研究科	1	数理科学	大 6	
計	77		大 261 4 (100)	

- 備考 1. *印は、大学院重点化済の研究科、専攻を示す。
 2. ※印は、独立専攻を示す。
 3. () 書きは、協力講座を外数で示す。
 4. 寄付講座は別掲とする。

附置研究所

(平成8年度)

研究所名	設置目的	研究部門名	部門数	研究所附属研究施設
医科学研究所	感染症、がんその他の特定疾患に関する学理及びその応用の研究	細菌 細菌感染 免疫学 ウイルス ウイルス感染 寄生虫 アレルギー学 獣医学 制癌 癌細胞学 癌体質学 癌ウイルス 癌生物学 病理学 微細形態学 化学 細胞化学 生物物理化学 細胞生物化学 分子生物学 細胞遺伝学 臓器移植生理学 感染症 癌病態学 病態薬理学 ☆遺伝子制御 ☆幹細胞シグナル分子制御 ☆細胞プロセッシング	25 (☆3)	附属病院 実験動物研究施設 奄美病害動物研究施設 微生物株保存施設 遺伝子解析施設 ヒトゲノム解析センター
地震研究所 (全国共同利用研究所)	地震及び火山噴火の現象の解明及び予知並びにこれらによる災害の防止及び軽減に関する研究	地球流動破壊 地球ダイナミクス 地球計測 地震火山災害	4 (4)	地震予知研究推進センター 地震地殻変動観測センター 地震予知情報センター 火山噴火予知研究推進センター 八ヶ岳地球電磁気観測所 江の島津波観測所
東洋文化研究所	東洋文化に関する総合研究	汎アジア 東アジア 南アジア 西アジア	4 (4)	東洋学文献センター
社会科学研究所	社会科学に関する総合研究	比較現代法 比較現代政治 比較現代経済 比較現代社会	4 (4)	日本社会研究情報センター
社会情報研究所	社会情報に関する総合研究	情報・メディア 情報行動 情報・社会	3 (3)	情報メディア研究資料センター
生産技術研究所	生産に関する技術的問題の科学的総合研究並びに研究成果の実用化試験	応用数学 応用光学 応用超音波工学 放射線工学 材料強度機構学 動的材料強弱学 流体物理学 伝熱工学 機械力学 流体機械学 熱原動機学 変形加工学 船体運動学 切削工作計画工学 精密工作学 化学機械学 耐震機械構造学 画像電子デバイス工学 電力工学 画像情報機器学 電力機器学 応用電子工学 マイクロ波工学 電子演算工学 情報処理工学 無機工業化学 有機工業化学 鉄鋼製錬工学 環境計測化学 工業物理化学 複合金属素材工学 環境化学工学 金属材料学 放射性同位元素工学 交通制御工学 建築生産学 水工学 建築構造学 土木構造学 地形情報処理工学 生産技術史 環境制御物理学 生産施設防災工学 ※高次協調モデリング	44	千葉実験所 計測技術開発センター 国際災害軽減工学研究センター 概念情報工学研究センター 材料界面マイクロ工学研究センター

研究所名	設置目的	研究部門名	部門数	研究所附属 研究施設
史料編さん所	本邦に関する史料の研究、編さん及び出版	古代史料 中世史料 近世史料 古文書・古記録 特殊史料	5 (5)	
分子細胞生物学研究所	分子細胞生物学に関する学理及びその応用の研究	細胞生物 分子生物 生体化学	3 (3)	細胞・機能高分子総合センター
宇宙線研究所 (全国共同利用研究所)	宇宙線の観測及び研究	超高エネルギー弱相互作用 ミュー中間子測定 宇宙線学 超高エネルギー強相互作用第一 超高エネルギー強相互作用第二 中間子物理学実験	6	乗鞍観測所 明野観測所 神岡宇宙素粒子研究施設
原子核研究所 (全国共同利用研究所)	原子核及び素粒子に関する実験的研究並びにこれに関連する理論的研究	荷電粒子原子核反応 中性子原子核反応 放射能 原子核測定装置 同位体分離 原子核理論 高エネルギー粒子加速装置 高エネルギーガンマ線 原子核物理学応用 パイ中間子測定 高エネルギー電子線測定 高エネルギー核物理学 加速器放射線制御 ※超高真空学 ※中間エネルギー物理	15	
物性研究所 (全国共同利用研究所)	物性に関する実験的研究及びこれに関連する理論的研究	新物質科学 物性理論 先端領域 極限環境物性 先端分光	5 (5)	軌道放射物性研究施設 中性子散乱研究施設 物質設計評価施設
海洋研究所 (全国共同利用研究所)	海洋に関する基礎的研究	海洋物理 海洋気象 海底物理 海底堆積 大洋底構造地質 海洋無機化学 海洋生化学 海洋生物生理 海洋生物生態 プランクトン 海洋微生物 資源解析 資源生物 資源環境 漁業測定 海洋分子生物学	16	研究船淡青丸 研究船白鳳丸 大槌臨海研究センター 海洋科学国際共同研究センター
計			135 (28) (☆3)	

備考 1. 「研究部門名」の※印は、客員研究部門である。

2. ()内の数は、大研究部門を内数で、同☆印は、寄付研究部門を外数でそれぞれ示す。

学内共同教育研究施設・全学共同利用施設

学内共同教育研究施設等

(平成8年度)

教育研究施設等	設置目的
総合研究博物館	学術標本を総合的に調査、収集、整理、保存し、それらの有効利用と展示公開を行い、これらの主要業務を推進するために必要な研究を行いながら、積極的に教育研究に寄与する。
低温センター	低温施設を整備して、これを管理運営し、学内各部局研究者の共同利用に供するとともに、全学の極低温研究の推進に必要な研究開発を行う。
アイソトープ総合センター	アイソトープ関係の機器及び施設を学内各部局研究者の共同利用に供するとともに、アイソトープの管理及び同取扱者の教育訓練を行う。
原子力研究総合センター	施設を学内原子力関係の研究者の共同利用に供するとともに、その施設及び設備を利用する原子力研究の推進・調整を行う。
教育用計算機センター	施設を学内各部局の教育を主とする共同利用に供することを目的とし、必要に応じて高速計算機に関連する教育についての学部間及び大学院研究科間の連絡を行う。
環境安全研究センター	環境安全に関する研究を通じ、環境安全対策の立案、実施、教育を行う。
遺伝子実験施設	組換えDNA実験に関する研究、教育並びに組換えDNA実験の促進と安全の確保をはかる。
留学生センター	外国人留学生のために、日本語教育及び日本文化・日本事情に関する教育を行うとともに、外国人留学生の所属する部局等その他の機関の協力を得て、修学上及び生活上の必要な指導助言を行う。また、海外留学を希望する学生のために、指導助言を行い、その他留学生交流の促進に関し、適切な事項の処理を行う。
先端科学技術研究センター	学際性・流動性・国際性・公開性を基本としつつ、学内各部局との相互協力のもとに先端科学技術及びその関連分野の研究・教育を行う。
人工物工学研究センター	人工物工学に関する教育研究を行う。
生物生産工学研究センター	生物生産工学に関する教育研究を行う。
アジア生物資源環境研究センター	アジアの生物資源環境の評価と、持続的利用のための研究を行う。
大学総合教育研究センター	大学改革に関する基礎的調査・研究を行うとともに、東京大学における教育課程・方法の改善を支援する。
国際・産学共同研究センター	大学における研究成果を企業化に向け増幅するプロジェクト研究及び国際・産学共同研究全般の推進を行う。

教育研究施設等	設 置 目 的
保 健 管 理 セ ン タ ー	本学の保健に関する専門的業務を統一的去行い、もって学生及び教職員の健康保持、増進をはかるとともに、診療を行う。
インテリジェント・ モデリング・ラボラトリー	大学院において、インテリジェント・モデリングによる人工物工学に関し、ベンチャー・ビジネスの萌芽ともなるべき独創的な研究開発を推進するとともに、高度の専門的職業能力を持つ創造的な人材を育成する。

全国共同利用施設

(平成8年度)

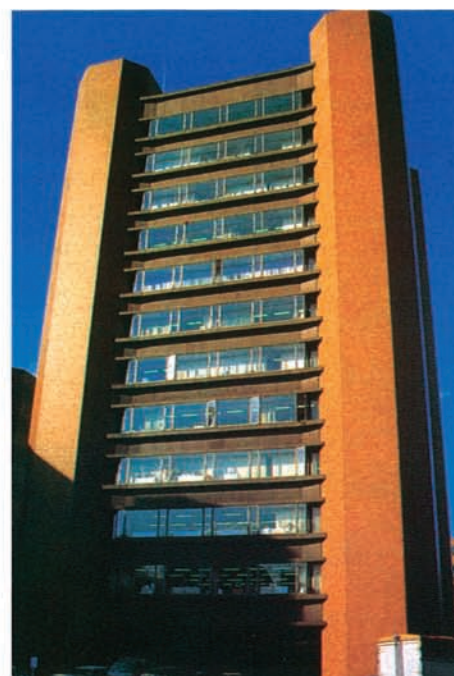
教育研究施設等	設 置 目 的
大 型 計 算 機 セ ン タ ー	高速計算機を管理運営するとともにその整備をはかり、全国の研究者の研究のため共同利用に供する。
気候システム研究センター	気候モデルによる気候システムに関する研究を行い、全国の研究者の研究のため共同利用に供する。
素粒子物理国際 研究センター	欧州原子核研究機構の電子・陽電子衝突型加速器による素粒子物理学に関する国際共同研究を行う。
大規模集積システム 設計教育研究センター	大規模集積システムの設計及びその教育に関する実践的調査研究、情報の提供その他必要な専門的業務を行う。

教職員定員

(平成8年度)

総 長	1
副学長	{ 2 }
教 授	1,316
助教授	1,207
講 師	145
助 手	1,442
教諭・養護教諭	36
職 員 (事務官・技官等)	3,844
総 計	7,991

備考 「職員(事務官・技官等)」欄には、事務系職員、技術系職員のほか、医療系職員約1,000人(看護婦、薬剤師、診療放射・エックス線技師、臨床・衛生検査技師、栄養士など)を含む。
{ } 内数字は併任



学生・研究生・聴講生数

(平成8年5月1日現在)

課程	種別 学部	学部	学部	学部	計	種別 研究科	大学院学生		大学院	計	研究所 研究生
		学生	研究生	聴講生			修士	博士	研究生		
前期 課程	教養	7,649(1,232)			7,649(1,232)	人文社会系	390 (161)	478 (166)	91 (46)	959 (373)	医科学 研究所 60(15)
		65 (14)			65 (14)		40 (27)	62 (27)	78 (43)	180 (97)	
後 期 課 程	法	1,912 (273)		7	1,919 (273)	教育学	111 (60)	143 (78)	23 (11)	277 (149)	3 (3)
		3 (1)			3 (1)		13 (11)	24 (18)	15 (6)	52 (35)	地震研究所 7 (1)
	医	557 (132)	146 (63)		703 (195)	法学政治学	219 (61)	80 (21)	29 (9)	328 (91)	1 (1)
							14 (4)	21 (2)	29 (9)	64 (15)	社会情報 研究所 126 (35)
	工	2,153 (121)	26 (6)	20 (3)	2,199 (130)	経済学	160 (35)	132 (23)	9 (1)	301 (59)	
		30 (2)	3	1	34 (2)		12 (1)	26 (5)	7 (1)	45 (7)	
	文	941 (295)	12 (8)		953 (303)	総合文化	521 (198)	524 (174)	82 (36)	1,127 (408)	生産技術 研究所 37 (8)
		4 (4)			4 (4)		58 (32)	107 (48)	64 (31)	229 (111)	
	理	697 (75)	4 (1)	7 (2)	708 (78)	理学系	829 (130)	818 (132)	58 (11)	1,705 (273)	13 (3)
		5			5		27 (9)	72 (9)	28 (8)	127 (26)	分子細胞 生物学 研究所 10 (3)
農	617 (136)	46 (27)	2	665 (163)	工学系	1,777 (127)	1,056(103)	125 (20)	2,958 (250)		
						140 (38)	378 (44)	104 (18)	622 (100)		
経済	953 (96)		5	958 (96)	農学生命 科学	521 (123)	513 (99)	30 (16)	1,064 (238)	物性研究所 7 2	
	10 (6)			10 (6)		38 (13)	132 (28)	18 (9)	188 (50)		
教養	448 (103)	26 (15)	18(10)	492 (128)	医学系	99 (68)	691 (198)	64 (30)	854 (296)	海洋研究所 9	
	2 (2)	5 (3)	18(10)	25 (15)		4 (3)	95 (45)	47 (23)	146 (71)		
教育	219 (68)	27 (13)		246 (81)	薬学系	168 (61)	144 (25)	13 (7)	325 (93)	先端科学 技術研究 センター 7 (2)	
						6 (3)	16 (3)	7 (5)	29 (11)	3 (1)	
薬	167 (61)	13 (1)	1	181 (62)	数理科学	105 (7)	101 (8)	22 (2)	228 (17)		
						4 (1)	16 (3)	1 (0)	21 (4)		
計	計	16,313(2,592)	300(134)	60(15)	16,673(2,741)	計	4,900(1,031)	4,680(1,027)	546(189)	10,126(2,247)	263(64)
		119 (29)	8 (3)	19(10)	146 (42)		356 (142)	949 (232)	398(153)	1,703 (527)	22 (8)
合計		学生 25,893(4,650)	研究生 1,109(387)	聴講生 60(15)	総計 27,062(5,052)						
		1,424 (403)	428(164)	19(10)	1,871 (577)						

備考 本表の上段は総数を示し、下段は外国人留学生数を、() は女子学生数をそれぞれ内数で示す。

学部学生の入学状況

(平成8年5月1日現在)

科 類	定 員	志 願 数	受 験 数	合 格 数	入 学 数	特 別 選 考 入 学 者 数				入 学 者 総 数
						第1種	第2種	国 費 外 国 人 留 学 生	政 府 派 遣 留 学 生	
文科一類	655	3,772	2,072	656	654	1	6	1		662
文科二類	395	2,075	1,254	395	395	2	8	4		409
文科三類	500	3,334	1,603	506	502	2	4	2		510
理科一類	1,295	5,322	3,488	1,309	1,292	4	4	14	5	1,319
理科二類	561	2,510	1,983	572	562		2			564
理科三類	90	590	356	91	90		2			92
合 計	3,496	17,603	10,756	3,529	3,495	9	26	21	5	3,556

備考 1. 「志願者数」、「受験者数」、「合格者数」及び「入学者数」には特別選考の数は含まない。

2. 特別選考入学者数の「第1種」及び「第2種」は、外国の学校を卒業した外国人及び日本人を対象とした選抜により入学した者で、次の分類による。

第1種 外国人であって日本の永住許可を得ていない者

第2種 日本人及び第1種以外の外国人

大学院学生の入学状況

(平成8年5月1日現在)

研究科	修士課程							博士課程							
	入学 定員	志願者数			入学者数			入学 定員	志願者数			入学者数			
		本学	他大学	計	本学	他大学	計		本学	他大学	計	本学	他大学	計	
人文社会系	〈若干名〉 188	184	405	〈11〉 〈18〉 589	105	71	176	104	140	39	179	106	12	118	
教育学	42	52	107	159	31	21	52	27	43	6	49	37	4	41	
法学政治学	〈約40〉 143	106	291	〈63〉 397	40	54	94	60	28	14	42	19	1	20	
経済学	108	45	156	〈19〉 201	33	50	83	54	33	36	69	30	3	33	
総合文化	〈約20〉 248	165	680	〈97〉 845	101	159	260	〈約14〉 164	162	105	267	135	40	175	
理学系	465	326	589	915	257	151	408	〈19〉 237	(1)255	(1)50	(2)305	(1)240	(1)31	(2)271	
工学系	666	876	865	〈1〉 1,741	668	181	849	347	(2)239	(4)118	(6)357	209	(2)73	(2)282	
農学生命科学	農学	〈若干名〉 238	172	225	397	141	123	264	〈若干名〉 116	93	(1)55	(1)148	90	50	140
	獣医学	—	—	—	—	—	—	—	〈若干名〉 13	12	20	32	11	17	28
医学系	医学	—	—	—	—	—	—	180	96	143	(12) 239	87	117	(12) 204	
	保健学	46	41	86	127	21	21	42	21	28	21	49	17	9	26
薬学系	53	87	49	136	75	14	89	25	47	9	56	47	2	49	
数理科学	53	[3] 54	[1] 93	[4] 147	33	[1] 19	[1] 52	32	30	9	〈1〉 39	26	5	〈1〉 31	
計	2,250	[3] 2,108	[1] 3,546	[4]〈38〉 5,654	1,505	[1] 864	[1]〈11〉 2,369	1,380	(3) 1,206	(6) 625	(9)〈32〉 1,831	(1) 1,054	(3) 364	(4)〈25〉 1,418	

- 備考 1. 農学生命科学研究科の「農学」は同研究科の獣医学専攻を除く全専攻を、「獣医学」は獣医学専攻を示す。
また、医学系研究科の「医学」は健康科学・看護学専攻及び国際保健学専攻を除く全専攻を、「保健学」は健康科学・看護学専攻及び国際保健学専攻を示す。
2. ()内は、修士の学位を有しない者(大学を卒業後、大学、研究所等において2年以上の研究歴を有する者)の状況を内数で示す。
3. []内は、本学の学部3年次からの状況を内数で示す。
4. < >内は、社会人特別選抜の状況を内数で示す。
5. < >内は、社会人受入状況を内数で示す。

入学者選抜方法等の概要

1. 平成9年度選抜方式・実施期日

本学は「分離分割方式」(前期日程・後期日程)により、第2次学力試験を実施する。試験実施期日はそれぞれ次のとおりである。

前期日程	平成9年2月25日(火)・26日(水)
後期日程	平成9年3月13日(木)・14日(金)

2. 募集人員

平成9年度において、教養学部に入学者を許可する学生の募集人員は、次のとおりである。

文科一類	655人	前期日程	590人	後期日程	65人人
文科二類	395人	前期日程	355人	後期日程	40人
文科三類	500人	前期日程	445人	後期日程	55人
理科一類	1,295人	前期日程	1,158人	後期日程	137人
理科二類	561人	前期日程	501人	後期日程	60人
理科三類	90人	前期日程	80人	後期日程	10人
計	3,496人	前期日程	3,129人	後期日程	367人

3. 出願期間

前期日程及び後期日程とも下記期間とする。

平成9年1月27日(月)～平成9年2月4日(火)

4. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、学力試験(大学入試センター試験及び第2次学力試験)、調査書及び健康診断による。

ただし、入学志願者が募集人員を大幅に上回り、第2次学力試験を適切に実施することが困難な場合は、大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者に対して第2次学力試験を行う。

5. 進学振分け制度

本学では、リベラルアーツ教育の理念に基づき、入学後2年間は、前期課程(教養学部)での学修が義務付けられ、この課程が終了した時点で本人の希望及び成績により専門教育の課程である学部に進学する進学振分け制度が実施されている。各科類毎の進学学部は、教養学部後期課程への進学を除いて、原則として次のとおりである。

文科一類	： 法学部	理科一類	： 工学部・理学部・薬学部・農学部
文科二類	： 経済学部	理科二類	： 農学部・理学部・薬学部・医学部 ・工学部

文科三類 : 文学部・教育学部 理科三類 : 医学部医学科

なお、教養学部後期課程にあつては、文科・理科の各類から教養学科第一、第二、第三に理科の各類から基礎科学科第一、第二に進学することができる。

大学院入学者選抜方法の概要

(平成8年度入学者)

研究科	課程	出願時期	筆記及び口述 試験時期	試験方法		社会人特別 選抜の有無	外国人特別 選考の有無
				筆記	論文 又は 口述		
人文社会系	修士	11月中旬	1月下旬～2月上旬	○	○	—	○
	博士	12月中旬	2月上旬	—	○	—	○
教育学	修士	12月上旬	2月中旬	○	○	—	○
	博士	1月上旬	2月中旬～下旬	○	○	—	○
法学政治学	修士	7月下旬	9月上旬及び10月上旬	○	○	○	○
	博士	1月上旬	3月上旬	—	○	—	—
経済学	修士	8月下旬	9月上旬及び下旬	○	○	△	○
	博士	1月下旬	3月上旬	—	○	—	○
総合文化	修士	1月上旬(7月下旬)	1月下旬及び2月中旬 (8月下旬及び9月上旬)	○	○	○	○
	博士	2月上旬(1月中旬)	3月中旬(2月中旬)	—	○	○	○
理学系	修士	7月下旬(6月上旬) (6月下旬及び12月中旬)	8月下旬～9月中旬 (8月下旬～9月上旬及び 1月下旬～2月中旬)	○	○	—	○
	博士	1月上旬～中旬 (6月下旬及び12月中旬)	2月上旬～下旬 (8月下旬～9月上旬及び 1月下旬～2月中旬)	○	○	○	○
工学系	修士	7月下旬～8月上旬	9月上旬	○	○	—	○
	博士	7月下旬～8月上旬	9月上旬及び2月下旬～ 3月上旬	○	○	△	○
農学生命科学	修士	8月上旬	8月下旬～9月上旬	○	○	○	○
	博士	2月中旬(8月上旬)	3月上旬 (8月下旬及び9月上旬)	○	○	○	○
医学系	修士	7月上旬	8月下旬	○	○	△	○
	博士	9月上旬(1月上旬)	10月中旬(2月上旬)	○	○	△	○
薬学系	修士	7月上旬	8月下旬～9月上旬	○	○	—	○
	博士	1月中旬	2月上旬及び下旬	○	○	—	○
数理科学	修士	7月下旬	8月下旬～9月上旬	○	○	—	○
	博士	1月中旬	2月中旬	○	○	—	○

- 備考
1. 総合文化研究科の()書きは、広域科学専攻を示す。
 2. 理学系研究科の()書きは、外国人特別選考を示す。
 3. 農学生命科学研究科の()書きは、獣医学専攻及び社会人特別選抜を示す。
 4. 医学系研究科の()書きは、健康科学・看護学及び国際保健学専攻を示す。
 5. 数理科学研究科はこの他に「大学3年次に在学する者に係る特別選抜」を実施している。
 6. 社会人特別選抜欄の○については、研究科全ての専攻が受け入れているわけではない。
 7. 社会人特別選抜欄の△については、社会人を受け入れているが、特別選抜は実施していない。

(平成8年3月31日現在)

学部卒業生数

大学院修了者数

学 士 (旧 制)	学 士 (新 制)			修 士			博 士		
	専攻分野	平成7年度	累 計	専攻分野	平成7年度	累 計	専攻分野	平成7年度	累 計
法学士 29,148	法 学	673	26,854	文 学	100	4,084	文 学	21	132
法律学士 58	医 学	103	4,112	心 理 学	5	15	心 理 学	2	8
医学士 7,258	保健衛生学	54	1,199	社 会 学	16	462	社 会 学	3	37
製薬士 34	工 学	996	31,683	社会心理学	5	16	社会心理学	1	4
薬学士 1,290	文 学	392	12,227	教 育 学	50	1,313	教 育 学	4	52
工学士 18,398	理 学	340	9,259	法 学	81	792	法 学	3	163
文学士 11,126	農 学	222	8,908	經 済 学	66	745	經 済 学	13	104
理学士 4,626	獸 医 学	28	190	学 術	177	935	学 術*1	19	75
農学士 7,438	經 済 学	411	14,640	理 学*1	0	32	理 学*1	7	13
農芸化学士 12	教 養	183	5,199	理 学*2	379	8,141	理 学*2	144	3,427
林学士 517	教 育 学	90	2,916	工 学	771	15,032	工 学	222	3,903
獣医学士 268	薬 学	86	2,537	農 学	197	3,974	学 術*2	8	15
水産学士 57				保 健 学	48	572	農 学	78	1,818
経済学士 11,201				薬 学	75	1,698	獸 医 学	23	53
准医学士 6				数 理 科学	46	168	医 学	62	1,260
司法省法学校成業生 4							保 健 学	10	171
工部大学校卒業生 9							薬 学	44	830
農科大学卒業生 3							数 理 科学	24	63
計 91,453	計	3,578	119,724	計	2,016	37,979	計	688	12,128

- 備考 1. 衛生看護学士については「保健衛生学」に、国際学修士については「学術」にそれぞれ含む。
 2. 修士「経済学」の66は、経済学研究科（5年一貫博士課程）における在学中の学位授与者16名を含む。
 3. 「大学院修了者数」の専攻分野中「学術 *1」及び「理学 *1」は総合文化研究科、「学術 *2」は工学系研究科「理学 *2」は理学系研究科における授与である。

論文提出による博士学位取得者数

旧 制	新 制		
	専攻分野	平成7年度	累 計
文学博士 289	文 学	14	231
法学博士 157	心 理 学	2	4
経済学博士 63	教 育 学	2	73
理学博士 1,402	法 学	0	41
工学博士 1,916	社 会 学	1	33
農学博士 1,112	社会心理学	0	1
薬学博士 571	經 済 学	6	154
医学博士 5,672	学 術	9	34
	理 学	36	1,610
	工 学	204	4,125
	農 学	105	2,471
	獸 医 学	13	41
	医 学	114	2,823
	保 健 学	8	104
	薬 学	44	1,042
	数 理 科学	7	30
計 11,182	計	565	12,817



学部卒業者の卒業後の状況

(平成8年5月1日現在)

区分	学部	法	医		工	文	理	農		経済	教養	教育	薬	計
			医学	保健				農学	獣医					
平成7年度卒業生		673 (89)	103 (11)	54 (31)	996 (58)	392 (132)	340 (45)	222 (30)	28 (8)	411 (37)	183 (57)	90 (33)	86 (29)	3,578 (560)
進 学 者 数	大 学 院	27 (9)	14 (2)	17 (15)	687 (43)	118 (36)	288 (41)	141 (22)	14 (4)	21 (4)	89 (20)	26 (11)	74 (25)	1,516 (232)
	学 部	7		6 (3)		6 (4)	6	3 (1)		13 (2)	1 (1)			42 (11)
	計	34 (9)	14 (2)	23 (18)	687 (43)	124 (40)	294 (41)	144 (23)	14 (4)	34 (6)	90 (21)	26 (11)	74 (25)	1,558 (243)
就 職 者 数	農 業							1						1
	林 業							1						1
	漁 業							1						1
	鉱 業	1												1
	建 設 業	4			22 (3)	4		5		3				38 (3)
	製 造 業	39 (6)		1	111 (4)	68 (17)	4	14	9 (2)	64 (10)	15 (4)	10 (5)	2 (1)	337 (49)
	電気・ガス・ 熱供給・水道業	13 (1)			14	2 (2)		1		16	1	1		48 (3)
	運輸・通信業	42 (2)			23	14 (4)	3	3		30 (4)	6 (1)	5 (1)		126 (12)
	卸売・小売業 ・飲食店					8 (3)	1 (1)	4 (1)		30	9 (3)	2 (1)		54 (9)
	金融・保険業	123 (8)		4	56	26 (3)	9 (1)	16 (3)		149 (8)	18 (9)	5 (2)		406 (34)
	不動産業	2				1		1		5	1			10
	サービス業	21 (2)		16 (10)	16	54 (20)	9 (2)	7	2 (1)	25 (3)	16 (8)	13 (4)		179 (50)
	公 務	171 (23)			22 (5)	17 (15)	2	12 (1)	1	36 (1)	9 (4)	9 (5)	2 (1)	281 (55)
	そ の 他	46 (6)		3 (1)	17					1 (1)	2 (2)	1		70 (10)
	小 計	462 (48)	0 (0)	24 (11)	281 (12)	194 (64)	28 (4)	66 (5)	12 (3)	359 (27)	77 (31)	46 (18)	4 (2)	1,553 (225)
臨床研修医			83 (9)											83 (9)
無 業 者		177 (32)	6	2 (1)	9	62 (25)	18	12 (2)	2 (1)		14 (5)	18 (4)	8 (2)	328 (72)
そ の 他				5 (1)	19 (3)	4				18 (4)	2			48 (8)
合 計		673 (89)	103 (11)	54 (31)	996 (58)	384 (129)	340 (45)	222 (30)	28 (8)	411 (37)	183 (57)	90 (33)	86 (29)	3,570 (557)

備考 () は女子学生を内数で示す。

大学院修了者の修了後の状況

(平成8年5月1日現在)

研究科	人文社会系		教育学		法学政治学		経済学		総合文化		理学系		工学系		農学生命科学			医学系			薬学系		数理科学		計			
	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	5年一貫博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士		
平成7年度		(49)		(23)		(13)		(12)		(31)		(41)		(35)		(8)	(1)		(11)	(7)		(3)		(5)		(239)		
修了者	126	27	50	4	81	3	50	13	177	26	379	144	771	230	197	78	23	48	62	10	75	44	46	24	2,000	688		
進学者数	本学	99		37		19		30		125		250	(1)	199		88		25				48		25		945	(1)	
	他大学	1				3					4		2		1									2		13		
	計	100		37		22		30		125		254	(1)	201		89		25				48		27		958	(1)	
就職者数	大学教員	3	9	1	2	2		4		1		22	2	30		5	2	1	8	1			4			8	89	
	私立	7			1	1		4	2			5		7		9	2	1	3	4			2		2	4	46	
	研究機関											5	32	11	9	12	14	1		4			3	8		31	68	
	民間	1		1							4	7	17	11		2	1	1								1	23	
	研究者							(1)				(1)		(8)									(1)	(1)			(12)	
	技術者						1	1	14		25	9	426	67	67	2	2	3		1	23	15	11	3	570	100		
	事務	2		1		22		(1)			65	3	6	4	9											121	7	
	公務	1		1		18		(1)			7	6	34	19	7										2	74	25	
	医療機関																		2	10							2	10
	民間			1																(2)	3						1	3
公務								(1)				(1)															(2)	
高校教員	2		1								4			1												7	1	
その他	3	(1)	1		6		(1)		17	1	2	2	19		2							1				52	3	
計	11	17	6	1	49	3	20	9	33	2	112	86	515	148	97	32	8	10	28	6	27	29	13	6	893	375		
その他	学振特別研究員(PDF)		(13)		(2)		(6)			(3)	(2)																(26)	
	学部再入学	8	1	2					4	2	5	22	4	2	3	4		4	6	1			2	2	9	32	49	
	その他	1		3		(2)		(1)	(11)		(1)		(21)		(1)			2	(5)	(5)					(2)	84	163	
	無業	7	(1)	2	(10)			(1)			8	5				(2)		1		(1)		(1)				33	28	
計	15	10	7	3	10		(2)		(20)		(12)		(22)		(4)		15	(7)	(6)		(1)		(4)		(119)	313		

備考1. 修了者数には、退学後論文を提出して学位を授与された者を含む。

2. ()内は、博士課程を満期退学した者の数を外数で示す。

3. 外国への留学については、「その他」の「その他」を含む。

大学院における学生の交流状況

1. 研究指導の受・委託学生数

平成7年度

研究科	委託学生数										受託学生数(特別研究学生)											
	国内の研究教育機関								外国の 教育研究 機関		計		国内の大学院学生						外国の 大学院 生		計	
	大 学				研究所								国立		公立		私立					
	国立	公立	私立	等	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士		
人文社会系研究科							2				2											
総合文化研究科													1							1		
理学系研究科	1	7			1	11	22			1	12	31	14	19						14	19	
工学系研究科	1	6			2	2		5	3	13		2									2	
農学生命科学研究科		1			1	3		2	1	6					1		1				2	
医学系研究科		6			6	12	1	11	1	35		41		2		5					48	
薬学系研究科	1	3			1	3	4	4	2	14		3				1		1			5	
数理科学研究科	2	4							1	2	5		1								1	
計	5	27			1	10	14	45	1	24	21	106	14	67		2	1	6	1	1	16	76

2. 単位互換制度に基づく交流学生数

平成7年度

協定締結大学院		交流学生数			
本学研究科	他大学大学院	派遣		受入	
		修士	博士	修士	博士
人文社会系研究科	お茶の水女子大学大学院 人文科学研究科				10
経済学研究科	一橋大学大学院 経済学研究科		2	7	2
理学系研究科	東京工業大学大学院 理工学研究科 生命理工学研究科	16	1	5	1
	お茶の水女子大学大学院 理学研究科 人間文化研究科	21	1	35	1
工学系研究科	東京工業大学大学院 理工学研究科 総合理工学研究科 情報理工学研究科	12	1	10	5
	埼玉大学大学院 理工学研究科	2		23	1
数理科学研究科	東京工業大学大学院 理工学研究科	1		3	
	お茶の水女子大学大学院 理学研究科	9	1	5	
	計	61	6	104	9

備考：交流学生数は、前期（4月～9月）及び後期（10月～3月）に、派遣あるいは受入を行った延べ人数を表したものである。

附属学校の入学定員・在学者数

(平成8年5月1日現在)

教育学部附属中学校

学年別	学級数	1学級当 たり定員	入学定員	在学者数	
1年	3	40	120	男	60
				女	60
2年	3	40	120	男	60
				女	60
3年	3	40	120	男	58
				女	60
計	9		360	男	178
				女	180

教育学部附属高等学校

学年別	学級数	1学級当 たり定員	入学定員	在学者数	
1年	3	40	120	男	62
				女	60
2年	3	40	120	男	58
				女	58
3年	3	40	120	男	53
				女	52
計	9		360	男	173
				女	170

備考：高等学校は中学校から連絡進学させる。

医学部附属看護学校

学年別	入学定員	在学者数
1年	50	45
2年	50	38
3年	50	21
計	150	104

医学部附属助産婦学校

学年別	入学定員	在学者数
1年	20	18

国際交流協定一覧

協定締結状況

(平成8年6月1日現在)

国名	大学間協定	締結年	大学間協定(学生交流)	締結年	部局間協定	締結年	締結部局
中国	清華大学、北京大学、中国社会科学院 復旦大学 中国科学技術大学	1985年 1991年 1993年			北京林学院(北京林業大学) 大連工学院(大連理工大学) 中国科学院高能物理研究所 蘭州大学材料科学技術研究所 上海交通大学研究生院 北京大学*	1984年 1987年 1995年 1995年 1995年 1995年	農学部 生産研 宇宙線 生産研 工学系 教養
インド			デリー大学	1980年			
インドネシア					ボゴール農科大学 バンドン工科大学 ガジャマダ大学*	1988年 1991年 1995年	農学部 生産研 教養
イスラエル	ワイツマン研究所	1993年					
韓国	ソウル大学校	1990年			釜山大学校機械技術研究所 延世大学工科大学校 ソウル大学校*	1995年 1995年 1995年	生産研 工学部 教養
マレーシア					マラヤ大学*	1995年	教養
フィリピン	フィリピン大学	1990年			フィリピン大学*	1995年	教養
シンガポール					シンガポール国立大学	1993年	生産研
香港					香港大学アジア研究センター	1995年	東文研
タイ	チュラロンコン大学 タマサート大学	1985年 1987年			カセサート大学 タマサート大学国際工学部 チュラロンコン大学工学部・理学部	1995年 1995年 1995年	東文研 工学系 工学部
ベトナム					ハノイ農科大学	1995年	農学部
イラン	地球科学研究所	1995年					
オーストラリア	シドニー大学	1994年			アデレード大学物理数学部 シドニー大学* モナシュ大学*	1995年 1995年 1995年	宇宙線 教養 教養
ニュージーランド	マッセイ大学	1995年			カンタベリー大学 オークランド大学* オタゴ大学*	1995年 1995年 1995年	工学部 教養 教養
エジプト					カイロ大学	1993年	生産研
オーストリア	ウィーン工科大学	1981年	ウィーン工科大学	1981年			
デンマーク					コペンハーゲン大学ニールス・ボーア研究所	1990年	原子核研
フランス	ピエール・エ・マリー・キューリー大学(パリ第6大学) ルイ・バスタードール大学(ストラスブール第1大学) ルネ・デカルト大学 エコール・ノルマル・スーペリユール エコール・ポリテクニク、フランス科学研究所 パリ第8大学	1982年 1989年 1990年 1993年 1994年 1996年	ロレーヌ国立総合工科大学	1975年	パリ地球物理研究所 エコール・セントラル・パリ ベルビニアン大学応用複合領域研究所 パリーグリニオン国立農学院	1986年 1993年 1994年 1996年	地震研 工学部 先端研 農学部
ドイツ	ポッフム・ルール大学 チュービンゲン大学、マールブルク・フィリップス大学 ベルリン自由大学 ベルリン・フンボルト大学	1969年 1987年 1992年 1996年	シュツットガルト大学	1977年	ドイツ重イオン科学研究所	1991年	原子核研
イタリア	ローマ大学「ラ・サピエンツァ」 ミラノ大学 パドヴァ大学	1988年 1992年 1993年					
オランダ	レイデン大学	1987年					

国名	大学間協定	締結年	大学間協定(学生交流)	締結年	部局間協定	締結年	締結部局
ノルウェー	オスロ、ベルゲン、トロンハイム、トロンセー大学	1992年					
ポーランド	ワルシャワ大学	1978年					
スペイン	ラ・コンプレテンセ大学	1986年			マドリッド工科大学	1993年	生産研
スウェーデン	ストックホルム大学・ストックホルム王立工科大学	1979年					
スイス			ローザンス連邦工科大学	1976年	サン・ガレン大学	1995年	社研
ハンガリー					ヴェスプレム大学工学部	1996年	生産研
ロシア					モスクワ工学物理大学	1993年	工学部
イギリス	ロンドン経済・政治大学(ロンドン大学)	1988年	エセックス大学	1972年 1980年	ロンドン大学ユニバーシティカレッジ	1978年	工学系
	オックスフォード大学	1994年	オックスフォード大学		インペリアルカレッジ オブサイエンス、テクノロジー エンド メディシン	1992年	生産研
	ストラスクライド大学	1996年			ロンドン大学ユニバーシティカレッジ数理物理学部	1995年	地震研
カナダ			ブリティッシュコロンビア大学	1978年	ブリティッシュコロンビア大学	1993年	経済学
アメリカ	イリノイ大学	1984年	マサチューセッツ工科大学	1976年	ワシントン大学工学部	1985年	工学部
	アリゾナ大学	1987年	ハーバード大学	1978年	ウッズホール海洋研究所	1989年	海洋研
	カリフォルニア大学 サンディエゴ校	1988年	スタンフォード大学	1978年	カリフォルニア大学	1991年	工学部
	メリーランド大学	1990年	プリンストン大学	1978年	ハワイ大学	1991年	海洋研
	シカゴ大学	1991年	カリフォルニア大学 パークレー校	1978年	ペンシルヴァニア大学	1992年	経済学
	ワシントン大学	1992年			ハワイ大学	1993年	文学部
	ジョンズ・ホプキンス大学	1996年			ウッズホール海洋研究所	1994年	地震研
					ハワイ大学マノア校	1995年	宇宙線
					ユタ大学	1995年	宇宙線
					カリフォルニア大学アーバイン校	1995年	宇宙線
アルゼンチン					ラ・プラタ大学	1990年	農学部
ブラジル	サンパウロ大学	1980年					
	欧州原子核研究機構(CERN)	1988年					
合計	20か国 46機関		8か国 13機関		23か国 59機関		
延べ			51か国	118機関			

注：締結年の()書きは、1996年中に調印予定。

*印は、短期交換留学協定(AIKOM)



外国へ留学している学生数

(平成8年5月1日現在)

地 域	国名又は地域名	学 部 学 生	大 学 院 学 生		計
			修 士	博 士	
ア ジ ア	ネ パ ー ル	1		1	2
	中 国	2	2	6	10
	イ ン ド			2	2
	モ ン ゴ ル			1	1
	韓 国		1	2	3
	ミ ャ ン マ ー			1	1
	タ イ		1	1	2
	ベ ト ナ ム			4	4
	台 湾			1	1
中 近 東	イ ス ラ エ ル			2	2
ア フ リ カ	エ ジ プ ト			1	1
	南 ア フ リ カ	1			1
	モ ロ ッ コ			1	1
	ケ ニ ア	1			1
オセアニア	ニュージーランド	1			1
北 米	カ ナ ダ	1			1
	アメリカ合衆国	15	19	46	80
中 南 米	アルゼンチン			1	1
	メ キ シ コ	2			2
ヨ ー ロ ッ パ	オーストリア		2	3	5
	チ ェ コ			1	1
	フ ラ ン ス	2	9	28	39
	ド イ ツ	2		27	29
	ギ リ シ ア			3	3
	アイルランド	1		2	3
	イ タ リ ア		1	4	5
	ベ ル ギ ー		1		1
	ス ウ ェ ー デ ン		3	1	4
	ス イ ス	1	2	3	6
	イ ギ リ ス	3	2	17	22
	ブ ル ガ リ ア			1	1
	旧ユーゴスラビア		1		1
	C I S (旧ソ連)			3	3
計	32か国1地域	33	44	163	240

外国人留学生数

(平成8年5月1日現在)

地域	国名又は地域名	学部学生	学部研究生	大学院学生		大学院研究生	研究 所研 究生	計	地域	国名又は地域名	学部学生	学部研究生	大学院学生		大学院研 究生	研究 所研 究生	計		
				修士	博士								修士	博士					
アジア	パキスタン			2	2			4	中 南 米	メキシコ				2	3		5		
	インド			3	6	5		14		コスタリカ				1			1		
	ネパール			2	5	1		8		ブラジル	2		3	12	9		26		
	バングラディッシュ	2		4	21	4		31		ウルグアイ				1			1		
	スリランカ			8	10	2		20		アルゼンチン	1			5	1		7		
	ミャンマー			1	3	2		6		チリ			1	1			2		
	タイ	14		18	17	7	1	57		ボリビア				1	2		3		
	マレーシア	14	1	4	3	2		24		ペルー				1	1	1	3		
	シンガポール	22		3		1		26		コロンビア				3			3		
	インドネシア	21	2	10	15	5	2	55		ベネズエラ					1		1		
	フィリピン		1	1	7	6		15		小計	3		8	24	17		52		
アジア	香港	3		3	6	2		14	ヨーロッパ	フィンランド					2		2		
	韓国	7	4	91	308	82	12	504		スウェーデン				2	1		3		
	モンゴル	2			1			3		ノルウェー					2		2		
	ベトナム	4		2	6	2		14		デンマーク			1	1			2		
	中国	22	7	124	359	150	8	670		イギリス					5	1	6		
	台湾		1	37	60	26		124		ルクセンブルグ					1		1		
	小計	111	16	313	829	297	23	1,589		オランダ					2		2		
	中近東	イラン				8	2			10	ヨーロッパ	ドイツ				9	6		15
		トルコ				4	4			8		フランス			7	2	7		16
		シリア				1				1		スペイン				4	4		8
イスラエル				2	1	1		4	ポルトガル						1		1		
アラブ首長国連邦					1			1	イタリア				3	6	2		11		
小計				2	15	7		24	ギリシャ				1				1		
アフリカ	エジプト			2	5			7	ヨーロッパ	オーストリア				1	3		4		
	スーダン			1				1		スイス			1	3	3		7		
	タンザニア				1			1		ポーランド				4	3		7		
	ザイール			1				1		チェコ			1				1		
	ナイジェリア			1	1			2		ハンガリー				3	5		8		
	ガーナ				3			3		ルーマニア				3	1		4		
	象牙海岸			1				1		ブルガリア			1	2	2		5		
	モロッコ				1			1		アルバニア				1			1		
	エチオピア				1			1		CIS(旧ソ連)	1			4	4		9		
	小計			6	12			18		ラトビア				1			1		
オセアニア	オーストラリア	4	6	4	3	5	1	23	ヨーロッパ	スロバキア				1	1		2		
	ニュージーランド		4			1		5		ウクライナ				1	1		2		
	小計	4	10	4	3	6	1	28		小計	1		15	50	54	1	121		
北米	カナダ			1	2	2		5	計(68カ国2地域)		119	28	356	949	400	25	1,877		
	アメリカ合衆国		2	7	14	17		40											
	小計		2	8	16	19		45											

外国人研究者の受入状況

(平成7年度)

部 局 名	経費負担別 区分	文 部 省 事 業	日 本 学 術 振 興 会	国 際 協 力 事 業 団	基 金 国 際 交 流	そ の 他 の 国 内 資 金	外 ・ 関 国 研 究 機 関	私 費	計
大学院法学政治学研究科		5	3		3	8	10	6	35
医 学 部		23	20	1		11	2	36	93
大学院工学系研究科		23	62	8	1	43	39	27	203
大学院人文社会系研究科		9	2		7	15	4	6	43
大学院理学系研究科		82	25	1		7	16	7	138
大学院農学生命科学研究科		36	22	2			10	18	88
大学院経済学研究科		2	1			3	7		13
大学院総合文化研究科		94	19	1	8	2	18	26	168
大学院教育学研究科			1		1	1	2	2	7
薬 学 部			5					2	7
大学院数理科学研究科		4	3			1	1		9
医 科 学 研 究 所		6	3	4		5		14	32
地 震 研 究 所		14	8	1		26		2	51
東 洋 文 化 研 究 所		1	6		9		6	12	34
社 会 科 学 研 究 所		7	1		15	5	27	6	61
社 会 情 報 研 究 所			1		4		2	1	8
生 産 技 術 研 究 所		29	20	1		27	21	14	112
史 料 編 さん 所			1		1			3	5
分子細胞生物学研究所		1	4				6		11
宇 宙 線 研 究 所		14	4			3	1	1	23
原 子 核 研 究 所		7	6			1	4	13	31
物 性 研 究 所		5	7			1		49	62
海 洋 研 究 所		3	20			6	21	1	51
総 合 研 究 博 物 館		36							36
原子力研究総合センター			1				1		2
環境安全研究センター				1					1
留 学 生 セ ン タ ー		1							1
先端科学技術研究センター		2	14			4	7	23	50
気候システム研究センター		4	2			7			13
人工物工学研究センター			1			1		1	3
生物生産工学研究センター		1							1
アジア生物資源環境研究センター		2							2
計		411	262	20	49	177	205	270	1,394

注) 各大学院研究科には学部の数値を含む。

国別内訳

(平成7年度)

地域	国名又は地域名	受入人数	
ア	パキスタン	4	
	インド	26	
	ネパール	1	
	バングラデシュ	11	
	スリランカ	5	
	ミャンマー	1	
	タイ	31	
	マレーシア	19	
	ジ	シンガポール	4
		インドネシア	18
フィリピン		13	
香港		3	
韓国		136	
ア	モンゴル	2	
	ベトナム	8	
	中国	308	
	ラオス	1	
	台湾	16	
	小計	607	
中近東	イラン	2	
	トルコ	2	
	シリア	2	
	イスラエル	14	
	ヨルダン	1	
小計	21		

地域	国名又は地域名	受入人数
アフリカ	エジプト	2
	アルジェリア	1
	マダガスカル	1
	タンザニア	2
	ザイール	4
	ガーナ	1
	セネガル	1
	小計	12
オニセア	オーストラリア	29
	ニュージーランド	5
小計	34	
北米	カナダ	32
	アメリカ合衆国	250
小計	282	
中南米	メキシコ	2
	グアテマラ	2
	ブラジル	11
	アルゼンチン	1
	チリ	1
	ボリビア	1
米	ペルー	3
	コロンビア	1
	ベネズエラ	2
	小計	24

地域	国名又は地域名	受入人数	
ヨーロッパ	フィンランド	3	
	スウェーデン	9	
	ノルウェー	3	
	デンマーク	4	
	アイルランド	2	
	イギリス	79	
	ベルギー	6	
	オランダ	13	
	ドイツ	84	
	フランス	77	
ヨーロッパ	スペイン	8	
	ポルトガル	1	
	イタリア	19	
	オーストリア	10	
	スイス	12	
	ポーランド	5	
	チェコ	9	
	ハンガリー	8	
	ルーマニア	4	
	ブルガリア	3	
ヨーロッパ	CIS (旧ソ連)	43	
	ウクライナ	4	
	ウズベキスタン	1	
	ベラルーシ	2	
	旧ユーゴスラビア	1	
	ラトビア	1	
	スロバキア	3	
	小計	414	
	合計	68か国 2地域	1,394

国際交流会館 (インターナショナルロッジ)

(平成8年5月1日現在)

単位：(室)	白金台ロッジ				駒場ロッジ		合計		
	A棟	B棟	C棟		留学生	研究者	留学生	研究者	計
	留学生	研究者	留学生	研究者					
単身用	9	12	24	10	126	24	159	46	205
夫婦用	6	6	6	18			12	24	36
家族用	3	3	3	8			6	11	17
計	18	21	33	36	126	24	177	81	258

(平成8年5月1日現在)

◎ 日本学術振興会による拠点大学方式による交流……東京大学

対 象 国	交流分野	部 局 名	相手国拠点大学等	開始年度
中 国	工 学	工 学 部	中国科学技術大学	平成5年
インドネシア	海洋科学	海 洋 研 究 所	海洋研究所	昭和63年
シンガポール	理 学	理 学 部	国立シンガポール大学	昭和58年
マレーシア	医 学 海洋科学	医 学 部 海 洋 研 究 所	マレーシア 理科大学 マレーシア 農科大学	昭和63年 平成3年
タ イ	海洋科学 薬 学	海 洋 研 究 所 薬 学 部	チュラロンコン大学 チュラロンコン大学他	平成元年 平成2年

対応機関：中国……中国科学院（CAS）
 インドネシア……インドネシア科学院（LIPI）
 シンガポール……国立シンガポール大学（NUS）
 マレーシア……国立大学長会議（VCC）
 タイ……タイ学術研究会議（NRCT）

◎ 国際協力事業団を通じた協力（プロジェクト方式技術協力）……東京大学

対 象 国	プ ロ ジ ェ ク ト 名	部 局 名	開始年度
中 国	中国ポリオ対策	医 学 部	平成3年
〃	鉱物資源探査センター	工 学 部	平成6年
〃	寧夏森林保護研究計画	農 学 部	平成6年
インドネシア	高等教育開発計画	工 学 部	平成2年
韓 国	老人保健医療センター	医 学 部	平成2年
マレーシア	複層林作業技術現地実証調査	農 学 部	平成3年
〃	サラワク総合病院救急医療	医 学 部	平成4年
〃	熱帯病研究	医 学 研 究 所	平成4年
フィリピン	交通研究センター	工 学 部	平成4年
タ イ	環境研究研修センター	工 学 部	平成2年
〃	公衆衛生	医 学 部	平成3年
〃	家族計画・母子保健	医 学 部	平成3年
〃	エイズ予防対策	医 学 部	平成5年
〃	タマサート大学工学部拡充計画	工 学 部	平成6年
トルコ	地震防災	地 震 研 究 所	平成6年
ガーナ	ガーナ国立野口記念医学研究所	医 学 研 究 所	昭和61年
ケニア	社会林業訓練計画（第II期）	農 学 部	平成4年
ザンビア	ザンビア大学獣医学部技術協力計画	農 学 部	平成4年
タンザニア	キリマンジャロ村落林業計画（第II期）	農 学 部	平成3年
ホンジュラス	看護教育強化	医 学 部	平成2年
メキシコ	地震防災	生 産 技 術 研 究 所	平成4年
アルゼンチン	ラプラタ大学獣医学部研究計画	農 学 部	昭和63年
〃	水産資源評価管理計画	農 学 部	平成6年
パラグアイ	地域保健強化	医 学 部	平成6年

研究員等の受入状況

(平成8年5月1日現在)

区分 部局名	受託研究員			内地 研究員	私学 研修員	公立 大 学 立 学 員 研修員	日本学術振興会特別研究員						合計
	一般	官庁	小計				PD	DC2	DC1	がん	外国人	小計	
大学院法学政治学研究科							6	4	2			12	12
医学部	25	1	26				11	16	24		1	52	78
大学院工学系研究科	48	1	49	1	1		14	35	84		3	136	187
大学院人文社会系研究科					4		19	16	19			54	58
大学院理学系研究科	2		2				25	64	139		9	237	239
大学院農学生命科学研究科	17	3	20		1		20	23	34		3	80	101
大学院経済学研究科				3			1	2	12			15	18
大学院総合文化研究科				1	3		22	20	33		1	76	80
大学院教育学研究科	1		1	2			6	3	1			10	13
薬学部	15		15		1		4	5	15		1	25	41
大学院数理科学研究科							16	10	10		1	37	37
医科学研究所	2		2				4			1		5	7
地震研究所							4					4	4
社会科学研究所				1			1					1	2
社会情報研究所					1								1
生産技術研究所	33	3	36								5	5	41
史料編さん所				2			3					3	5
分子細胞生物学研究所	8		8				5			1		6	14
原子核研究所	2		2	1			1					1	4
物性研究所	1		1				7				4	11	12
海洋研究所	1		1				4					4	5
総合研究博物館							1					1	1
原子力研究総合センター		1	1										1
先端科学技術研究センター	1		1				1					1	2
気候システム研究センター							1					1	1
人工物工学研究センター							1				1	2	2
生物生産工学研究センター	2		2										2
計	158	9	167	11	11	0	177	198	373	2	29	779	968

備考 日本学術振興会特別研究員は、次のような採用区分を示す。PD：博士課程修了者等、DC2：博士課程2年次以上在学者等、DC1：博士課程1年次在学者等、がん：博士課程修了者等でがん研究に専念する者、外国人：我が国と国交がある国の国籍を有す博士の学位取得後5年以内の者

寄付講座・寄付研究部門設置状況

寄付講座

(平成8年5月1日現在)

部局名	名称	設置期間	寄付総額 (百万円)	寄付者
大学院 工学系研究科	相関製鉄システム学 (BF5)	平成4年10月～9年9月	200	新日本製鐵(株)・川崎製鐵(株)・日本鋼管(株)・神戸製鋼所・住友金属工業(株)
薬学部	機能病態学	平成4年10月～9年9月	250	武田薬品工業 株式会社
大学院 工学系研究科	地球環境工学(東京ガス)	平成6年4月～9年3月	120	東京ガス 株式会社
	自律メカトロニクス (JR東日本)	平成6年4月～9年3月	150	東日本旅客鉄道 株式会社
	先端エネルギー工学 (三菱重工業)	平成6年4月～9年3月	150	三菱重工業 株式会社
医学部	脈管病態生理学(ツムラ)	平成6年7月～9年7月 ※1	200	株式会社 ツムラ
大学院 工学系研究科	交通システム工学 (JR東海)	平成7年4月～10年3月	120	東海旅客鉄道 株式会社
	国際環境計画(クボタ)	平成7年10月～8年9月 ※2	40	株式会社 クボタ
医学部	肝炎ウイルス学(SKBB)	平成7年12月～10年11月	90	スミスクラインピーチャムバイオロジカルズ(ベルギー)
	疾患遺伝子制御(サンド)	平成8年4月～9年3月 ※3	50	サンド薬品 株式会社
	薬剤疫学	平成8年4月～11年3月	135	武田薬品工業 株式会社 他14社

※1 平成3年7月～6年7月を9年7月まで更新。

※2 平成4年10月～7年9月を8年9月まで更新。

※3 平成3年4月～8年3月を9年3月まで更新。

寄付研究部門

(平成8年5月1日現在)

部局名	名称	設置期間	寄付総額 (百万円)	寄付者
気候システム 研究センター	グローバル気候学 (伊藤忠グループ)	平成3年10月～8年9月	250	伊藤忠商事(株)他 伊藤忠グループ 11社
大学院法学政 治学 研究科	国際資本市場法	平成5年10月～10年9月	100	(財)学術振興野村基金
医科学研究所	遺伝子制御	平成7年4月～12年3月	250	エーザイ 株式会社
	幹細胞シグナル分子制御 (アムジェン)	平成7年4月～12年3月	620	アムジェン 株式会社
	細胞プロセッシング (旭化成)	平成7年9月～10年8月	190	旭化成工業 株式会社

国有特許保有件数

(平成8年5月1日現在)

部 局 名	保有件数		申請中の件数		国内 実施 件数
	国内	外国	国内	外国	
医 学 部	3	4			1
大学院工学系研究科	18	17	11		
大学院理学系研究科	3	1	2		
大学院総合文化研究科	6	30	6	29	
医 科 学 研 究 所	1				
地 震 研 究 所	1				1
生 産 技 術 研 究 所	18	1	12		9
分子細胞生物学研究所	1				
合 計	51	53	31	29	11

外国特許国別保有件数 (平成8年5月1日現在)

国 名	保有件数	申請中 の件数
ベ ル ギ ー	2	3
フ ラ ン ス	6	3
ド イ ツ	6	3
イ タ リ ア	4	3
オ ラ ン ダ	3	3
ス イ ス	5	3
イ ギ リ ス	6	3
カ ナ ダ	3	6
ア メ リ カ	18	2
合 計	53	29

学術情報分野別データベース作成件数

(平成7年5月1日現在)

分 野	人文・ 社会科学 分野	自 然 科学 分 野	複 合 領 域	広領域	その他	計
件 数	12	38	15	2	8	75
分野別構成	16.0	50.7	20.0	2.7	10.6	100.0

附属病院診療科・病床数等

(平成7年度)

医学部附属病院					
(入院患者数)					
診療科名	実在病床数	入院患者延数	診療科名	実在病床数	入院患者延数
第一内科	61	19,124	眼科	40	10,999
第二内科	61	17,138	皮膚科	30	8,510
第三内科	72	18,993	泌尿器科	40	11,978
物療内科	49	12,401	精神神経科	39	9,540
老人科	25	7,298	耳鼻咽喉科	50	14,160
第一外科	51	18,178	放射線科	20	7,217
第二外科	40	14,426	麻酔科	5	912
脳神経外科	30	9,124	歯科口腔外科	20	5,578
胸部外科	34	11,819	形成外科	15	5,228
整形外科	46	16,080	小児外科	16	5,546
産科婦人科	54	17,910	神経内科	33	11,206
小児科	48	11,683	小計	879	265,048
(外来患者数)					
診療科名	外来患者延数	診療科名	外来患者延数	診療科名	外来患者延数
脳神経外科	12,738	麻酔科	5,517	膠原病内科	25,369
胸部外科	8,330	歯科口腔外科	16,685	神経内科	16,888
整形外科	35,380	形成外科	7,729	感染症内科	0
産科婦人科	38,019	小児外科	3,821	老人科	14,180
小児科	16,786	総合内科	20,047	心療内科	1,362
眼科	60,257	循環器内科	38,430	一般外科	8,598
皮膚科	40,665	腎臓内科	10,791	血管外科	9,578
泌尿器科	19,192	呼吸器内科	12,794	内分泌外科	5,052
精神神経科	33,443	消化器内科	42,296	上部消化外科	7,499
耳鼻咽喉科	31,384	血液・腫瘍内科	7,565	下部消化外科	7,872
放射線科	6,082	内分泌内科	28,401	肝・胆・膵外科	5,450
			小計		598,200

医学部附属病院分院			
診療科名	実在病床数	入院患者延数	外来患者延数
内科	57	15,040	43,870
外科	58	16,834	17,727
耳鼻咽喉科	15	2,794	10,358
眼科	11	3,898	17,327
産科婦人科	29	6,690	8,391
小児科	30	3,918	9,666
皮膚科	5	814	9,477
泌尿器科	8	2,664	5,862
放射線科	2	120	2,397
歯科口腔外科	2	93	10,049
神経科	15	4,137	11,130
整形外科	13	4,494	9,215
心療内科	-	-	7,189
小計	245	61,496	162,658

医科学研究所附属病院			
診療科名	実在病床数	入院患者延数	外来患者延数
内科	混合 135	10,324	5,857
外科		5,230	5,304
放射線科		-	23
人工臓器移植科		5,114	4,706
感染免疫内科		5,624	6,388
小計	135	26,292	22,278

合計	1,259	352,836	783,136
----	-------	---------	---------

部局別蔵書数

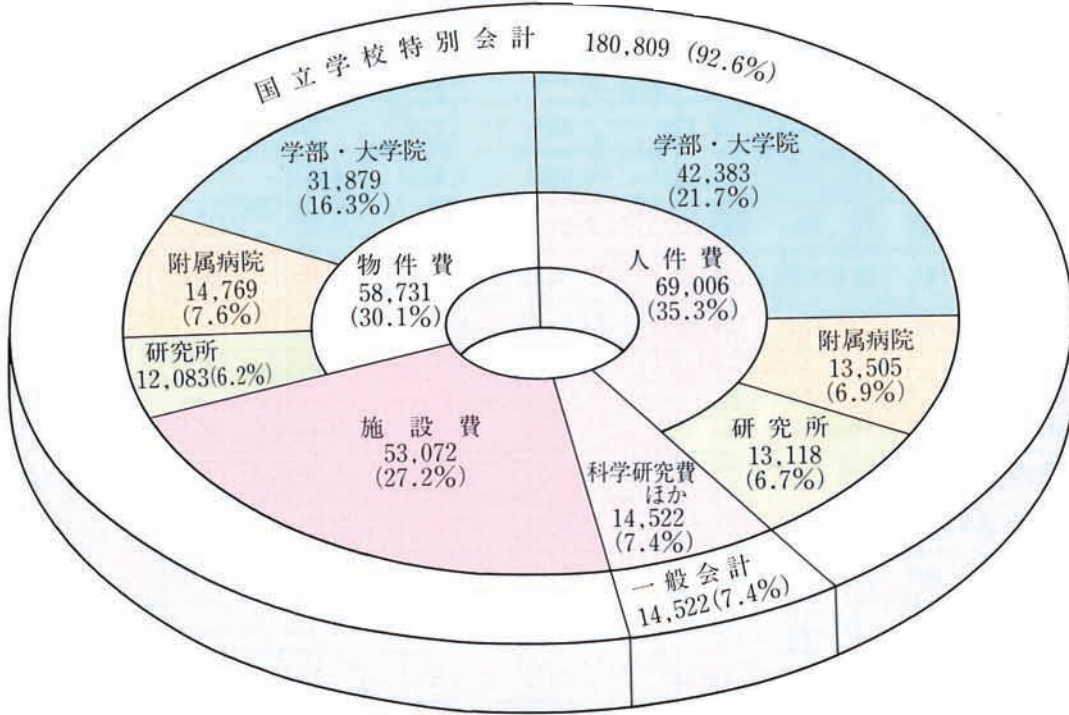
(平成8年5月1日現在)

区 分	蔵 書 数				受 入 資 料 数			
	図 書 (冊)		逐次刊行物 (種)		図 書 (冊)		逐次刊行物 (種)	
	総 計	総計のうち 洋書数	総 計	総計のうち 洋書数	総 計	総計のうち 洋書数	総 計	総計のうち 洋書数
大学院法学政治学研究所・法学部	625,336	385,704	11,370	1,799	14,071	8,482	1,732	1,083
医 学 部	99,172	59,521	7,456	4,719	2,065	805	1,762	853
医学部附属病院分院	37,802	20,726	426	215	480	326	312	172
大学院工学系研究科・工学部	380,706	224,443	6,946	3,636	8,431	5,585	3,600	1,707
大学院人文社会系研究科・文学部	702,440	365,522	9,015	3,616	20,677	11,580	3,989	1,461
大学院理学系研究科・理学部	214,425	178,237	7,800	5,500	6,052	5,457	3,160	2,004
大学院農学生命科学研究科・農学部	323,174	136,657	10,844	5,110	6,072	4,172	4,392	2,478
農学部附属演習林	24,452	7,089	32	17	44	16	32	17
大学院経済学研究科・経済学部	582,262	271,040	11,776	4,730	10,138	4,115	1,444	569
大学院総合文化研究科・教養学部	973,728	517,753	4,803	2,873	21,071	12,331	3,724	1,801
大学院教育学研究科・教育学部	102,529	50,635	2,900	745	2,518	1,021	1,107	325
薬 学 部	5,481	2,337	505	263	307	197	191	109
大学院数理科学研究科	80,148	72,812	1,297	1,206	69,132	62,674	625	584
医 学 研 究 所	53,823	44,737	1,263	945	39	146	343	268
地 震 研 究 所	44,368	27,209	1,623	782	953	600	1,127	575
東洋文化研究所	529,090	116,614	5,546	3,806	10,754	2,680	1,647	909
社会科学研究所	260,757	105,858	1,765	523	6,064	2,439	969	420
社会情報研究所	144,536	64,335	859	351	3,885	1,819	424	161
生産技術研究所	153,191	91,606	2,272	1,334	1,619	1,499	909	508
史料編さん所	416,618	9,848	1,907	161	5,478	595	572	5
分子細胞生物学研究所	22,019	20,119	369	198	472	435	327	200
宇宙線研究所	4,996	4,301	24	17	488	336	24	17
原子核研究所	35,848	27,818	387	289	1,232	1,108	242	186
物性研究所	57,852	48,264	485	409	1,706	1,578	275	209
海洋研究所	34,027	25,054	1,802	804	822	728	1,202	520
総合研究博物館	2,794	1,498	1,817	601	33	3	161	57
大型計算機センター	6,781	2,983	142	81	166	88	85	48
アイソトープ総合センター	1,819	927	7	3	62	10	7	3
低温センター	866	546	0	0	0	0	0	0
先端科学技術研究センター	69,419	52,025	1,558	1,279	456	211	230	173
小 計	5,990,459	2,936,218	96,996	46,012	195,287	131,036	34,614	17,422
総合図書館	1,071,891	444,842	15,474	7,445	12,741	3,956	6,131	2,067
合 計	7,062,350	3,381,060	112,470	53,457	208,028	134,992	40,745	19,489

平成7年度支出総額

 支出総額 195,331

(単位：百万円)



(注) 学部・大学院の物件費には、奨学寄附金等外部資金が含まれる。

【備考】

- ① 東京大学の自己収入としては、授業料及び入学検定料 (11,557百万円)、病院収入 (17,898百万円)、奨学寄附金 (6,966百万円)、民間等との共同研究等収入 (3,400百万円)、その他 (1,032百万円)、計40,853百万円の収入がある。
- ② 文部省は、各大学の自己収入と国の一般会計からの繰入資金を財源として、各大学の規模や教育・研究計画に応じて配分する。

科学研究費補助金

平成7年度

研究種目	交付件数	交付金額 (百万円)
特別推進研究	12	694
重点領域研究	370	4,028
総合研究 (A)	117	606
総合研究 (B)	25	62
一般研究 (A)	122	1,174
一般研究 (B)	440	1,380
一般研究 (C)	478	649
奨励研究 (A)	342	340
試験研究 (A)	17	447
試験研究 (B)	313	1,777
国際学術研究 (学術調査)	45	275
国際学術研究 (がん特別調査)	3	26
国際学術研究 (共同研究)	68	301
国際学術研究 (大学間協力研究)	4	8
創成的基礎研究費	4	248
COE形成基礎研究費	1	320
特別研究員奨励費	690	642
合計	3,051	12,977

備考

特別推進研究……国際的に高い評価を得ており格段に優れた研究成果をもたらす可能性のある研究
 重点領域研究……学術的・社会的要請の強い研究領域を一定期間、重点的かつ機動的に行う研究
 総合研究……異なる研究機関の研究者が共同して行う研究
 一般研究……一人で行う研究又は同一の研究機関の研究者が数人で共同して行う研究
 奨励研究……研究歴の若い研究者が一人で行う研究
 試験研究……研究の成果が実用に移される可能性を持つ試験的・応用的な研究
 国際学術研究……国外における調査研究及び国外の研究者との共同研究が不可欠な研究
 創成的基礎研究費……学術の新プログラムの推進
 COE形成基礎研究費……卓越した研究拠点 (COE) の形成の助成
 特別研究員奨励費……日本学術振興会の特別研究員が行う研究の助成

外部資金

平成7年度

区分	件数	受入額 (百万円)
民間等との 共同研究	A	27
	B	38
	C	20
	計	85
受託研究	国	250
	国以外	159
	計	409
奨学寄附金	5,738	6,966

備考

- 「民間等との共同研究」は、次の3つに区分されている。
 A：民間等から研究者とともに直接経費を受け入れ、国においても共同研究費を負担するもの。
 B：民間等から研究者とともに直接経費を受け入れるもの。
 C：民間等から研究者のみを受け入れるもの。
- 「受託研究」欄の「国」には、国以外の団体等で国から委託を受け、その再委託により研究を委託することが明確なものを含む。

地区名	部局等名称	所在地・電話番号	土地 (㎡)	建物 (㎡)	
白金地区	医 科 学 研 究 所 同 附 属 病 院	港区白金台4-6-1 03(3443)8111	} 68,450	} 47,411	
	インターナショナルロッジ (白金台ロッジ)	港区白金台4-6-41 03(3473)5336			
	白 金 学 寮	港区白金台4-10-27	2,453	1,733	
田無地区	農 学 部 附 属 農 場	田無市緑町1-1-1 0424(63)1611	222,358	5,816	
	農学部附属演習林田無試験地	田無市緑町1-1-8 0424(61)1528	91,219	586	
	原 子 核 研 究 所	田無市緑町3-2-1 0424(69)2222	} 43,642	} 18,801	
	宇 宙 線 研 究 所 物性研究所附属軌道放射物性研究施設	同 0424(69)2141 同 0424(69)2151			
三鷹地区	理学部附属天文学教育研究センター	三鷹市大沢2-21-1 0422(34)3739	(借入 144) 34,855	(借入 288) 99	
	三 鷹 国 際 学 生 宿 舎	三鷹市新川6-22-12	29,438	12,927	
	井 の 頭 学 寮	三鷹市下連雀2-21-6	1,612	1,270	
	三 鷹 馬 場	三鷹市大沢2-21-1	(借入 300) 5,444	275	
その他 (都内)	豊 島 学 寮	豊島区西巢鴨2-31-7	(地上権 10) 8,584	3,006	
	そ の 他		(借入 26,740) 20,002	(借入 1,102) 36,268	
そ の 他 の 地 区	北海道	文学部附属北海文化研究常呂実習施設	常呂郡常呂町栄浦 0152(54)2387	(借入 835)	(借入 660) 213
		農学部附属北海道演習林	富良野市字山都市街地2条通北1 0167(42)2111	(借入172,371) 228,233,623	4,411
	岩手県	海洋研究所附属大槌臨海研究センター	上閉伊郡大槌町赤浜2-106-1 0193(42)5611	(借入 11,664) 35,445	3,363
	宮城県	地震研究所附属江の島津波観測所	宮城県牡鹿郡女川町江の島145 0225(56)2004	(借入 368)	92
	茨 城 県	工学部附属原子力工学研究施設	那珂郡東海村白方白根2-22 029(287)8400	(借入 26,676) 3,303	12,297
		農 学 部 附 属 牧 場	西茨城郡岩間町大字安居3145 0299(45)2606	361,229	6,290
		物性研究所附属中性子散乱研究施設	那珂郡東海村白方白根106-1 0292(87)8900	2,893	1,403
	栃 木 県	理学部附属植物園日光分園	日光市花石町1842 0288(54)0206	(借入 11) 104,850	613
		埼玉県	農学部附属秩父演習林	秩父市日野田町1-1-49 0494(22)0272	(借入 6,141) 58,208,638

地区名	部局等名称	所在地・電話番号	土地 (m ²)	建物 (m ²)	
その他 の 地 区	千葉県 柏	キャンパス	柏市柏の葉5-1-5	116,417	—
	千葉 地区	検見川総合運動場	千葉市花見川区浪花町26 043(273)8071	276,487	4,240
		農学部附属緑地植物実験所	千葉市花見川区畑町1051 043(273)8326	47,031	1,070
		薬学部附属薬用植物園	千葉市花見川区畑町1479 043(273)7413	3,973	514
	県	農学部附属千葉演習林	安房郡天津小湊町天津770 04709(4)0621	(借入 3,790) 21,695,138	2,739
		生産技術研究所附属千葉実験所	千葉市稲毛区弥生町1-8 043(251)8311	91,703	13,187
	神奈川県	理学部附属臨海実験所	三浦市三崎町小網代1024 0468(81)4105	(借入 167) 76,555	4,445
		農学部附属農場二宮果樹園	中郡二宮町中里518 0463(71)0173	39,692	1,362
	山梨県	農学部附属富士演習林	南都留郡山中湖村山中341-2 0555(62)0012	(借入 299,987) 78,645	151
		宇宙線研究所附属明野観測所	北巨摩郡明野村浅尾5259 0551(25)2301	(借入 80,745)	(借入 208) 2,859
	長野県	理学部附属天文学教育研究センター 木曾観測所	木曾郡三岳村10762-30 0264(52)3360	(借入 65,509)	2,299
		地震研究所附属八ヶ岳 地球電磁気観測所	南佐久郡小海町大字豊里字川原 田20-2 0267(92)2468	(借入 19,751)	266
	岐阜県	宇宙線研究所附属乗鞍観測所	大野郡丹生川村乗鞍岳(7月~10月) 長野県南安曇郡安曇村乗鞍岳(11月~6月) 0263(33)7456	(借入 57,504)	1,438
		宇宙線研究所附属 神岡宇宙素粒子研究施設	吉城郡神岡町東茂住字下町456-1 0578(5)2116	(借入 2,748)	(借入 368) 639
静岡県	農学部附属演習林樹芸研究所	賀茂郡南伊豆町加納457 0558(62)0021	2,460,144	958	
	農学部附属水産実験所	浜名郡舞阪町舞阪2971-4 053(592)2821	(借入 19,960)	2,583	
愛知県	農学部附属愛知演習林	瀬戸市五位塚町11-44 0561(82)2371	(借入 1,857) 12,917,121	1,885	
鹿児島県	医学研究所 附属奄美病害動物研究施設	鹿児島県大島郡瀬戸内町大字手 安字須手802 09977(2)0373	8,043	523	
その他	(その他保健体育寮、 地震研究所観測所等)		(借入 126,524) (地上権 7,165) 557,826	(借入 949) 37,393	
総計	建物		—	1,148,843	
	国有地		3,358,019	—	
	借入		439,646	3,575	
	地上権		7,175	—	
船舶	(汽船)		4,503t	10隻	
	(雑船)			43隻	
備考	1. 総計欄は、演習林施設を除く。 2. ()内数字は外数である。 3. 「部局等名称」に未掲載の施設については、各部局の本部施設内等に設置されているため、本欄への掲載を省略している。				

講堂等施設

名 称	設 備 等
大 講 堂 (安田講堂)	講 堂 1,144席 (3階席 728 4階席 416) その他 便殿、展示室、控室等
山 上 会 館	会議室 6室 (99名 1室、16名 3室、28名 2室) 特別室 1室 (18名 1室) 研究室 7室 (2名 1室、1名 6室) その他 談話ホール、食堂、ロビー、応接室等
山 上 会 館 龍 岡 門 別 館	宿泊室 18室 (ツインルーム 4室、シングルルーム 14室) 宿泊者用キッチン(3)、ランドリー(1) その他 食堂、ラウンジ等

学生関係施設

体育施設・福利厚生施設等

	本郷キャンパス	駒場キャンパス	検見川キャンパス	そ の 他
体 育 施 設	御殿下記念館 (ジムナジウム・トレーニング室・屋内プール)、武道場、弓道場、第二食堂建物地下プール、御殿下グラウンド、農学部グラウンド、テニスコート7面、野球場1面	第一・第二体育館、トレーニング体育館、弓道場、陸上競技場、ホッケー場、ラグビー場、テニスコート12面、バレーコート4面、野球場1面、相撲道場1場	体育館、サッカー場5面、ラグビー場1面、アメリカンフットボール場1面、ホッケー場1面、クロスカントリーコース、テニスコート8面、野球場1面、セミナーハウス (定員182名)	戸田橋艇庫、三鷹馬場、戸田寮、山中寮、下賀茂寮、谷川寮
福 利 厚 生 施 設 等	第一・第二食堂、中央食堂、農学部食堂、医学部図書館食堂、生協 (書籍部、購買部、プレイガイド、トラベルセンター、美容室)、学生部センター、学生相談所	学生食堂、生協 (書籍部、購買部)、学生会館、学生相談所		

学生寄宿舍等

施 設 名	定 員	対 象	施 設 名	定 員	対 象	施 設 名	定 員	対 象
追分学寮	79名	男	向ヶ岡学寮	66名	男	豊島学寮	200名	男
井之頭学寮	64名	男	白金学寮	92名	女	三鷹国際学生宿舎	605名	男・女 (留学生を含む)

施設分布図

全 国

- | | |
|--|---------------------------------|
| 1 文学部附属北海文化研究常呂実習施設 | 21 地震研究所附属八ヶ岳地球電磁気観測所 |
| 2 農学部附属北海道演習林 | 22 宇宙線研究所附属乗鞍観測所及び同鈴蘭連絡所 |
| 3 海洋研究所附属大槌臨海研究センター | 23 野尻寮 |
| 4 地震研究所附属江の島津波観測所 | 24 宇宙線研究所神岡宇宙素粒子研究施設 |
| 5 工学部附属原子力工学研究施設及び
物性研究所附属中性子散乱研究施設 | 25 農学部附属演習林樹芸研究所 |
| 6 農学部附属牧場 | 26 農学部附属水産実験所 |
| 7 農学部放射線育種共同利用施設 | 27 戸田寮 |
| 8 地震研究所附属地震地殻変動観測センター筑波地震観測所 | 28 下賀茂寮 |
| 9 理学部附属植物園日光分園 | 29 農学部附属愛知演習林 |
| 10 谷川寮 | 30 地震研究所附属地震地殻変動観測センター和歌山地震観測所 |
| 11 地震研究所附属火山噴火予知研究推進センター伊豆大島火山観測所 | 31 地震研究所附属地震地殻変動観測センター広島地震観測所 |
| 12 地震研究所附属地震地殻変動観測センター弥彦地殻変動観測所 | 32 地震研究所附属地震地殻変動観測センター松山地殻変動観測所 |
| 13 池の平寮 | 33 地震研究所附属火山噴火予知研究推進センター霧島火山観測所 |
| 14 農学部附属富士演習林及び山中寮 | 34 医科学研究所附属奄美病害動物研究施設 |
| 15 地震研究所附属地震地殻変動観測センター富士川地殻変動観測所 | |
| 16 宇宙線研究所附属明野観測所 | |
| 17 理学部附属天文学教育研究センター木曾観測所 | |
| 18 地震研究所附属地震地殻変動観測センター信越地震観測所 | |
| 19 地震研究所附属火山噴火予知研究推進センター浅間火山観測所 | |
| 20 地震研究所附属火山噴火予知研究推進センター小諸火山化学研究施設 | |



東京近郊

- 1 本郷地区 (本部、附属図書館、保健センター、総合研究資料館、環境安全研究センター、遺伝子実験施設、留学生センター、素粒子物理学国際研究センター、大学総合教育研究センター、法学部、医学部、医学部附属病院、工学部、文学部、理学部、経済学部、教育学部、薬学部、東洋文化研究所、社会科学研究所、社会情報研究所及び史料編さん所)
- 2 浅野地区 (大型計算機センター、低温センター、アイソトープ総合センター、原子力研究総合センター、教育用計算機センター、工学部附属総合試験所等、大規模集積システム設計教育研究センター)
- 3 弥生地区 (農学部、農学部附属演習林、生物生産工学研究センター、アジア生物資源環境研究センター、分子細胞生物学研究所、地震研究所等)
- 4 小石川地区 (医学部附属病院分院、理学部附属植物園等)
- 5 駒場地区 (教養学部、数理科学研究科、先端科学技術研究センター、気候システム研究センター、人工工学研究センター、インターナショナルロッジ、国際・産学共同研究センター)
- 6 中野地区 (教育学部附属中・高等学校、海洋研究所)
- 7 六本木地区 (生産技術研究所、物性研究所)
- 8 白金地区 (医科学研究所、同附属病院、インターナショナルロッジ)
- 9 田無地区 (農学部附属農場、農学部附属演習林田無試験地、原子核研究所、宇宙線研究所、物性研究所附属軌道放射物性研究施設)
- 10 三鷹地区 (理学部附属天文学教育研究センター等)
- 11 農学部附属秩父演習林
- 12 地震研究所附属地震地殻変動観測センター堂平観測所
- 13 検見川地区 (検見川総合運動場、農学部附属緑地植物実験所、薬学部附属薬用植物園)
- 14 農学部附属千葉演習林
- 15 地震研究所附属地震地殻変動観測センター鋸山地殻変動観測所
- 16 生産技術研究所附属千葉実験所
- 17 理学部附属臨海実験所及び地震研究所附属地震地殻変動観測センター油壺地殻変動観測所
- 18 農学部附属農場二宮果樹園





本郷キャンパス全景



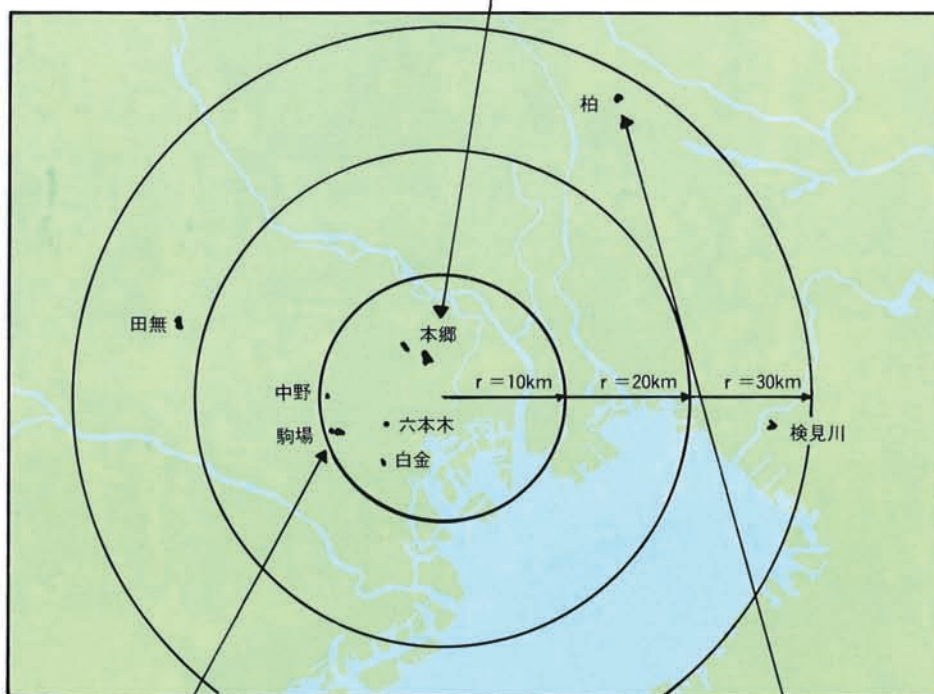
駒場キャンパス全景

三極構造構想

東京大学は、平成4年6月に「東京大学キャンパス計画の概要」を策定し、老朽・狭隘化の顕著な教育・研究環境を改善するため本郷、駒場地区等の既存キャンパスの再開発を行うとともに、学術の発展・高度化に対応する21世紀に向けたアカデミックプランを実現するため、新たに千葉県柏市に新キャンパスを取得し、本郷、駒場及び柏地区を軸とし、検見川地区等も加えた関連キャンパスの総合的な整備充実を図る三極構造構想を策定した。この三極構造は、東京大学の教育研究の将来構想をキャンパス面に投影したものであると同時に、政府機関の一極集中の是正という社会的要請にも配慮しつつ、各キャンパスで展開される活動の有機的連関を確保するため、日常的往來の可能な位置に主要キャンパスを配置しようとするものである。

(本郷地区キャンパス)

三極構造の重心をなすキャンパスとして、伝統的な教育研究の型（ディシプリン）を基礎としつつ、それ自身を発展させる教育研究を行うことを中心的な任務とし、重要拠点にふさわしい教育研究環境を整備する。



東京大学キャンパス配置図【都心30km圏】

(駒場地区キャンパス)

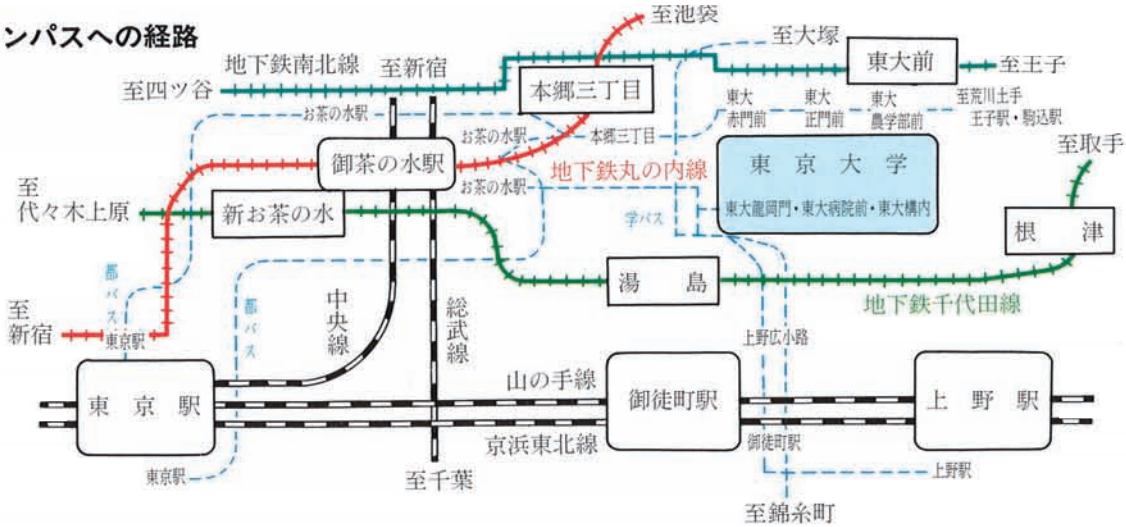
異なるディシプリンを持つ組織が、それぞれの固有性を保ちつつ、相互の知的協働作用及び社会の広範かつ多様な交流を通じて、前期課程教育の新たな展開と高等研究の活性化を図るとともに、「開かれた大学」の理念を具現する場とする。

(柏地区キャンパス)

教育研究の新たな展開の場となる新キャンパスを建設する。ここでは、近年の学問の急速な発展及び社会状況の激変に対応して、伝統的な学問体系・組織には収まりきれない基礎的課題群を、新しい学問領域を通じて教育研究する。

東京大学への経路

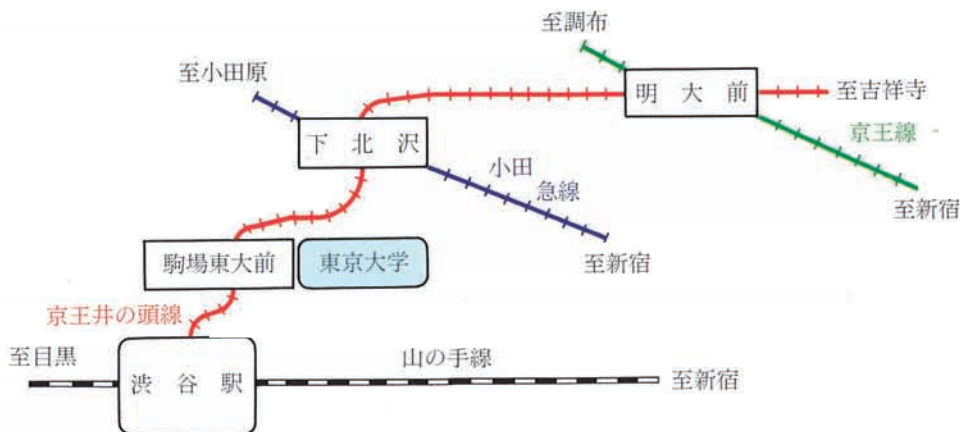
本郷キャンパスへの経路



最寄り駅	所要時間	最寄り駅	所要時間	最寄り駅	所要時間
本郷三丁目駅 (地下鉄丸の内線)	徒歩 8 分	湯島駅又は根津駅 (地下鉄千代田線)	徒歩 8 分	東大前駅 (地下鉄南北線)	徒歩 1 分

お茶の水駅 (JR中央線、 総武線)	地下鉄利用 地下鉄利用 都バス利用 学バス利用	丸の内線(池袋行)一本郷三丁目駅下車 千代田線(取手方面行)湯島駅又は根津駅下車 茶51駒込駅、王子駅行又は東43荒川土手行 一東大(赤門前、正門前、農学部前バス停)下車 学07東大構内行一東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車
上野駅及び御徒町駅 (JR山の手線等)	都バス利用 学バス利用	都02大塚駅行一湯島四丁目下車(御徒町駅のみ) 学01東大構内行一東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車

駒場キャンパスへの経路



渋谷駅 (JR山の手線等)	私鉄利用	京王帝都線の頭線(吉祥寺方面行)一駒場東大前駅下車
下北沢駅(小田急線)及び 明大前駅(京王帝都線)	私鉄利用	京王帝都線の頭線(渋谷行)一駒場東大前駅下車

東京大学の概要

発行 東京大学

編集 東京大学総務部学務課

〒113 東京都文京区本郷7-3-1 03-3812-2111

